埼玉県中体連剣道専門部専門委員長会議

日時 令和4年4月27日(水)9時30分~ 場所 県立武道館

司会 東部地区副委員長 山田 史和

- 1 部長挨拶
- 2 委員長挨拶
- 3 議 事
 - (1) 本年度の方針・計画案について
 - ①総務部 佐竹(草加新田)
 - ②競技部 保志(久喜)
 - ③審判部 星川(幸並)
 - 4会計部 渡邉(大宮西)
 - ⑤記録報道部 高信(泰平)
 - ⑥強化対策委員会から 上野(吉川南)
- (2)質疑
- 4 その他
 - ◎県代表者会議の日程 7月5日(火)※時間 10:30~
 - →会議内容の周知をお願いします。
 - ※資料はHPよりダウンロードして各出場校が持参してください。
 - ※参加費(一人500円)を代表者会議で集金します。
 - ◎学総県大会は県立武道館で実施します。当日の朝準備のご協力よろしくお願いします。 ※7月16日(土)女子団体戦、17日(日)男子団体戦、30日(土)男女個人戦です。

埼玉県中学校体育連盟剣道専門部規約

第1章 名称及び事務局

第1条(名称) 埼玉県中学校体育連盟剣道専門部と称する。

第2条(所在地) この団体を次の場所に置く。

〒330-0062

埼玉県さいたま市浦和区仲町3丁目5-1

埼玉県中学校体育連盟事務局

第2章 目的及び事業

第3条(目的) 本会は埼玉県における中学校体育を振興し体力の向上を図り、スポーツ精神を涵 養することを目的とする。

第4条(事業) 本連盟は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 1 剣道に関する理論及び実技の研究
- 2 生徒の技能向上のための諸般の研究調査
- 3 大会や強化錬成会の開催
- 4 その他本会の目的達成のための必要な事項

第3章 組織

第5条(組織)

- 1. 構成 員 埼玉県内の中学校剣道部顧問によって組織する。
- 2. 役 員 専門部に次の役員を置く。

1 専門部長 1 名

2 専門委員長 1 名

3副専門委員長 6名(東西南北・さいたま市、強化・課題担当)

4地区理事 5名(東西南北・さいたま市)

5 部長 5 名 (総務、会計、記録報道、競技、審判)

6 強化対策委員会 1 名 (事務局長)

7常任委員 20名(1~6+総務副部長1名)

- 3.組織各部の組織と業務は次の通りとする。
 - (1)総務部 各部の調整(庶務・申込等)
 - (2)会計 部 専門部の会計に関すること
 - (3) 記録報道部 HP 管理・更新等に関すること
 - (4) 競技部 大会運営に関すること
 - (5) 審 判 部 審判等に関すること
 - (6) 強化対策委員会 強化に関すること
- 4. 会 議 専門部に次の会議を置く。
 - (1) 常任委員会 役員改選案・行事計画案・大会要項・運営要項・規約改正
 - (2) 代表者会議 大会申し合わせ事項・大会組合せ(県大出場校顧問)
 - (3) 専門委員長会議 役員承認・行事計画・その他(各地区専門委員長)
- 5. 役員の選出 (1) 専門委員長及び副専門委員長は、専門委員長会議で選出し決定する。 専門委員長は、常任委員及び各地区専門委員長より選出する。 各地区副専門委員長は東西南北・さいたま市より選出する。 強化・課題担当副専門委委員長は専門委員長が任命する。
 - (2)各部部長及び部員は常任委員会より候補を選出し、専門委員長会議で承認を得る。
- 6. 役員の任期 役員の任期は2ヶ年とし、再任は妨げない。 (原則として2期までとする)
- 7. 設立年月日 昭和23年4月1日

以上の規約は、埼玉県中学校体育連盟規約・種目別専門部規定を基準として 平成 16 年 5 月 3 日より施行する。

平成 20 年 4 月一部改正

平成27年4月一部改正

平成30年4月一部改正

令和4年4月一部改正

令和4年度 埼玉県中体連剣道専門部行事予定

月	曜日	行 事 名	会場及び使用する場所	開始時刻
4	2 (土)	プレ関東大会・審判講習会	所沢市民体育館	9:00
	3 (目)	プレ関東大会	所沢市民体育館	9:00
	27 (水)	専門委員長会議	県立武道館:第1・第2会議室	9:00
	29 (金)	埼玉県中学生春季特別 剣道交流大会前日準備	行田グリーンアリーナ	15:00
	30 (土)	埼玉県中学生春季特別剣道交流大会	" (強化対策委員会担当)	8:30
5	1 (日)	埼玉県中学生春季特別剣道交流大会	行田グリーンアリーナ	8:30
	22 (日)	埼玉県中学生剣道交流大会	埼玉県立皆野高等学校	8:00
6	12(目)	埼玉県中学生剣道交流大会	県立武道館:主道場のみ	8:00
7	5 (火)	代表者会議	県立武道館:第2道場	10:30
	11	強化部会	県立武道館:第2道場	13:00
	16(土)女子団体	第69回学校総合体育	県立武道館:主道場、第1道場、	8:00
	17(日)男子団体	大会	第2道場、第1・第2会議室	8:00
	30(土)個人		17日:第1道場使用不可	8:00
			30 日:第1道場使用不可	
			第2道場午後のみ使用可	_
8	6 (土)	中高連携全国関東強化錬成会	県立武道館:主道場、第1・第2道	8:00
			場、第1・第2会議室	
	9 (火)	第48回関東中学校剣	埼玉県 所沢市民体育館	
	10 (水)	道大会	<u> </u>	
	15 (月)	ジュニア強化合宿	県立武道館:第2道場	8:00
	16 (火)	n	宿泊:スポーツ総合センター	
	19(金)~	第52回全国中学校剣	北海道釧路市	
	21 (日)	道大会 "	湿原の風アリーナ釧路	
9	17 (土)	埼玉県中学生剣道交流大会	草加市スポーツ健康都市記念体育館	9:00
	18 (日)	第 17 回全日本都道府県対	大阪府	
		抗少年剣道優勝大会	おおきにアリーナ舞州	
	19 (月)	埼玉県中学校剣道関東近県新善大会	県立武道館:主道場、第1・第2	8:00
		1	道場、第1・第2会議室	
10	11 (火)	代表者会議	県立武道館:第2道場	10:30
		強化部会	県立武道館:第2道場	13:00
	2 4 (月) 女子団体	第60回新人体育大会	県立武道館:主道場、第1・第2	8:00
	25(火)男子団体	兼第35回県民総合ス	道場、第1・第2会議室	
		ポーツ大会	25 日:第1 道場使用不可	
			第2道場午前のみ使用可	

1 1	12 (土) 個人	第44回埼玉県剣道大	県立武道館:主道場、第1・第2	8:00
		会 (中学の部)	道場、第1・第2会議室	·
			※第1道場は午前のみ使用可	
	20 (目)	埼玉県中学生剣道交流大会	開催場所があれば	8:00
	26 (土)	西部地区1年生大会	三芳体育館	9:00
1 2	3 (土)	東部地区1年生大会	庄和体育館	9:00
	8 (木)	第1回常任委員会	県立武道館:第1・第2会議室	14:00
	10(土)	学校剣道連盟指導者講習会	県立武道館第二道場	9:00
	24 (土)	埼玉県中学生冬季特別剣道交流大会	県立武道館:主道場、第1・2道	8:00
	25 (日)	埼玉県中学生冬季特別剣道交流大会	場、第1・2会議室	
			24 日:第1道場使用不可	
1	15 (日)	埼玉県中学生剣道交流大会	吉川市総合体育館	8:30
		北部地区1年生大会	熊谷市民体育館	9:00
	21 (土)	強化訓練(埼剣連事業)	県立武道館 事務局長選出	9:00
2	4 (土)	中髙連携強化事業	会場未定	8:00
	9 (木)	第2回常任委員会	県立武道館:第1,2会議室	14:00
	25 (土)	埼玉県中学生剣道交流大会	狭山市民総合体育館	8:30
3	11(土)	さいたま市1年生大会	駒場体育館	9:00
	12(日)	さいたま市1年生大会	駒場体育館	9:00

※南部地区1年生大会については、現在日程、会場等調整中。

*合宿等の宿泊場所は県立スポーツ総合センターとする。申し込み予約は中体連事務局に依頼する。 ※合宿宿泊人数について(スポーツ総合センター宿泊施設) 8・12月に1泊2日

- 8・12月 指導者(教職員)10名 生徒36名(男子18名、女子18名) 合計46名 ※中高強化 2月 指導者(教職員)13名 生徒36名(男子18名、女子18名)合計49名 ※施設利用上の注意点
- 1 県立武道館使用の場合、駐車場については水上公園の駐車場を利用する。バスについては乗用車 の邪魔にならないようにこちらの指示に従って停めさせる。
- 2 学総体は男女、学年規制を設ける。

(団体戦は男女で規制を設ける。※男子のみしか出場しない学校について、女子は連れてこない。 個人戦について、1年生は選手のみの参加とする。役員等は除く。)

埼玉関東関係行事予定

- 4月27日(水) 関東大会準備委員会 県立武道館 14:00~
- 5月11日(水)第1回実行委員会 県立武道館 14:00~
- 8月3日(水)組み合わせ抽選会 皆野町立皆野中学校 10:00~
- 8月7日(日)会場準備 所沢市民体育館 14:00~
- 8月8日(月)会場準備・第2回実行委員会 所沢市民体育館 8:00 ≈
- 10月26日(水)第3回実行委員会 県立武道館 14:00~

令和4年度 埼玉県中体連剣道専門部役昌

順不同 敬称略

中島(俊幸(仲町) 専門部長 相談役 三浦 達也(小川東) 専門委員長 中村 孝(皆野)

副専門委員長

中村 孝(音封) 東部地区 山田 史和(吉川東) 西部地区 高橋 賢徳(滑川)

南部地区 上野 慶一郎(戸塚西) 北部地区 木野内 悠介(赤見台) さいたま市 岸 宏昭(岸) 妣·靉珰 七条 剣 (朝霞第二)

本野文型

東部地区 奈良 康治 (大利根) 南部地区 三摩 和博 (朝霞第三) 西部地区 安部 徳晃(川越東) 北部地区 樋口 裕大(上尾太平)

さいたま市 山田 圭佑(第二東)

強化対策委員会(19名)

委員長:七条 剣(朝霞第二) 事務局長:上野 哲平(吉川南)

委 員:松田昂也(大沼)平井武蔵(吉川中央)峯知惠(百間)埜口志穂(鷲宮)猪鼻健(城北埼玉)山﨑夏樹(初雁)

加藤匡彦(滑川)中川勇作(芝)荒井馨梨(新座第四)町田竜志(秩父第二)金室あかね(三尻)黒澤大輔(妻沼東)

千島京香(本庄東)荒井健文(白幡)白石開(美園南)内田峻介(指扇)中川雄斗(原山)

総 務 部(14名)

部長:佐竹 士(草加新田) 副部長:金室 あかね(三尻)

松田 昂也(大沼)磯山 大樹(越谷富士)横井隆広(新座第二)山﨑夏樹(初雁)

1年生大会担当: 柳恒平(松山)

峯 知惠(百間)工藤 康平(坂戸住吉)鈴木 崇仁(在家)大野 久生(鴻巣北)増田 篤寛(大宮北)

県大会プログラム担当:増田 篤寛(大宮北) 内田 峻介(指扇)

会 計 部(6名)

部長:渡辺 正浩(大宮西) 副部長:高野 隼(城北)

東:寺田 優子(太東) 西:中井 愛(山口) 南:高野 直也(戸塚西)

北:大葉 郁香(熊谷東) さ:高野 隼(城北)

記録報道部(4名)

部長:高信 徹寛(泰平) 副部長:大越 史保子(大成)

大竹 航平(日進)水澤 達郎(新座第六)

競技部(名)

部長:保志 浩之(久喜) 副部長:五十嵐 有輔(朝霞第二)

橋本 真奈美(蓮田南)山中 弘樹(羽生東)寺田 優子(太東)

式典担当:山田 圭佑(第二東) 菅野 裕磨(浦和)

審 判 部(15名)

部長:星川 隼人(幸並) 副部長:三摩 和博(朝霞第三)

翠川 洋平(川口北)川口 正成(喜沢)町田 竜志(秩父第二)樋口 裕大(上尾太平)平井 武蔵(吉川中央)

加藤 匡彦(滑川)黒澤 大輔(妻沼東)千島 京香(本庄東)長谷川 寛喜(太東)中川 勇作(芝)

古屋 一樹 (東松山東) 白石 開 (美園南) 白石 剣 (与野西)

学校剣道連盟事務局(2名)

翠川 洋平(川口北) 白石 剣(与野西)

令和4年度 各地区専門委員長及び剣道競技の出場定数について

1 県大会出場定数の地区配当については地区ごとに定めてある。 (1) 学校総合体育大会(男 女 共 通)

堆	区		代表者	詳細地区	代表者	団	体戦	個人戦	備考	男子	女子
$\overline{}$		Н	142.0	加須市	千代田唐仁(昭和)	 				,,,	
Į	北埼	3	千代田康仁(昭和)	羽生市	山中弘樹(羽生東)	$\overline{}$	3	12			
İ				行田市	飯塚崇晃(忍)		•				
L		Н		越谷市・八潮市	磯山大樹(富士)八重田心(大原)		2	8			
東(11)				久喜•幸手	田中翔馬(幸手西)		.5	5			
	埼葛	8	上野哲平(吉川南)	春日部市	松田昴也(大沼)		,5	5			
:				三郷市・吉川市・松伏町	平井武蔵(吉川中央)		.5	5			
				四地区(白岡・杉戸・宮代・蓮田)			.5	5			
\dashv		\vdash				男子	女子	_			
\dashv		\vdash		所沢市	平山雄一(上山口)	2	2	8			
				狭山市	田中一重(狭山台)	1	1	4			<u> </u>
- 1		l		川越市	門間 愛(大東)	3	3	10			
	入間	1,,	安部徳晃(川越東)	入間東部	武藤広岳(福岡)	1	1	4			
西(14)			3.00.00.00.00.00.00	入間西部	小柳沙(飯能西)	1	<u> </u>	3		_	├
				入間市	河田寛世(東金子)	1	1	3			\vdash
				入間北部	元尾慶栄(鶴ヶ島西)	2	2	8			
ŀ		\vdash		比企	加藤匡彦(滑川)	- -			体(\vdash
	比企	3	高橋賢徳(滑川)	東松山市	古屋一樹(東松山東)	з	3	12	戦出		
	ШП	3	上野慶一郎(戸塚西)	川口市	上野慶一郎(戸塚西)		<u>. </u>	12	場		
ŀ		Ť		朝霞市	五十嵐有輔(朝霞第二)			,,_	校 ×		
				志木市	門倉智弘(志木第二)				4 		
	朝霞	3	安田武史(新座)	和光市	矢作駿丞(和光第二)		2	8	個		
有(8)				新座市	安田武史(新座)	\dashv			人戦		
ŀ		H		戸田市	川口正成(喜沢)				出場		\vdash
	県南	2	渡辺章吾(新栄)	蕨市	栃本宣寿(蕨第二)	-	3	12	数		
				草加市	渡辺章吾(新栄)		•				
		1	樋口裕大(上尾太平)	上尾市	石渡遼(上尾東)		1	4			\vdash
		Н		桶川市	片岡睦智(桶川西)						
	北足立北部			北本市	伊藤裕太(北本東)	$\overline{}$				-	-
		3	片岡睦智(桶川西)	鴻巣市	大野久生(鴻巣北)		3	12			
İ				伊奈町	小西菜美(伊奈南)						
能 (11)		\dashv		秩父市	町田竜志(秩父第二)						 -
	秩父	2	町田竜志(秩父第二)	秋父郡	西川遠(長瀞)	_	2	8			
	児玉	1	千島京香(本庄東)	本庄市・児玉郡	千島京香(本庄東)		1	4			
ŀ		H	* moves ad 517 thin 2757	能谷市	大業都香(熊谷東)		2	6			
	大里	4	黒澤大輔(妻沼東)	深谷市	岩田健太郎(幡羅)	+		\dashv			
1				寄居町	大澤尚子(寄居)	\dashv	2	6	İ		
 さいた:	ま市(8)	8	山田圭佑(第二東)	さいたま市	荒井健文(白幡)	- 	8	28			
		52									

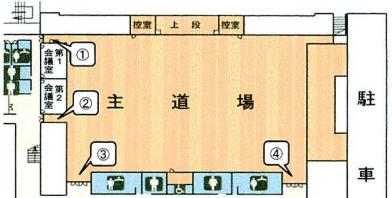
令和4年度 各地区専門委員長及び剣道競技の出場定数について

1 県大会出場定数の地区配当については地区ごとに定めてある。 (1) 新人体育大会(男 女 共 通)

	<u> ※学館:</u> 地区	大全	でベスト4に入った地区 代表者	は枠が与えられる 詳細地区	人 代表者	100	体戦	個人戦	净 专		ベスト4 女子
	-6 EL	П	10級個	加須市	十代田康仁(昭和)	<u> </u>	PP-488	個人製	関づ	20 7	AT.
	北埼	3	千代田康仁(昭和)	羽生市	山中弘樹(羽生東)		3	12			
				行田市	飯塚崇晃(忍)						1
				越谷市・八潮市	碳山大樹(富士)八重田心(大原)		2	8			
東(11)				久喜·幸手	田中翔馬(幸手西)		1.5	5			
	埼葛	8	上野哲平(吉川南)	春日部市	松田昴也(大沼)		1.5	5			
				三郷市・吉川市・松伏町	平井武蔵(吉川中央)	<u> </u>	1.5	5			
				四地区(白岡・杉戸・宮代・蓮田)	伊川諒(杉戸)		1.5	5			
						男子	女子				
				所沢市	平山雄一(上山口)	2	2	8			
				狭山市	田中一重(狭山台)	1	1	4			
				川越市	門間 愛(大東)	3	3	10			
	入間	11	安部徳晃(川越東)	入間東部	武藤広岳(福岡)	1	1	4			
西(14)				入間西部	小標渉(飯能西)	1	1	3			
				入間市	河田寛世(東金子)	1	1	3			
				入間北部	荒尾慶崇(鶴ヶ島西)	2	2	8	団		
	比企	3	高橋賢徳(滑川)	比企	加藤匡彦(滑川)	_			体戦		
	ı	,	向情見後(ガリ)	東松山市	古屋一樹(東松山東)	3	3	12	出		ĺ
	Ξū	3	上野慶一郎(戸塚西)	川口市	上野慶一郎(戸塚西)		3	12	場校		
				朝霞市	五十嵐有輔(朝霞第二)				×		
	朝霞	3	安田武史(新座)	志木市	門倉智弘(志木第二)		3	10	И		
南(8)		١	文田武文(制建)	和光市	矢作駿丞(和光第二)		3	12	個人		
H (0)				新座市	安田武史(新座)				妣		
				戸田市	川口正成(喜沢)				場		
	県南	2	渡辺章吾(新栄)	蕨市	栃本宜寿(蕨第二)		2	8	数		
				草加市	渡辺章吾(新栄)						
		1	樋口裕大(上尾太平)	上尾市	石渡遼(上尾東)		1	4			
				桶川市	片岡睦智(桶川西)						Í
	北足立北部	3	片岡睦智(桶川西)	北本市	伊藤裕太(北本東)		3	12			
				鴻巣市	大野久生(鴻巣北)		•				
				伊奈町	小西菜美(伊奈南)						
北(11)	秩父	2	町田竜志(秩父第二)	秩父市	町田竜志(秩父第二)		2	8			
				秩父都	西川達(長瀞)						
	児玉	1	千島京香(本庄東)	本庄市•児玉郡	千島京香(本庄東)		1	4			
				熊谷市	大葉郁香(熊谷東)		2	6			
	大里	4	黒澤大輔(妻沼東)	深谷市	岩田健太郎(幡羅)		2	6			
	'	Ц		寄居町	大澤尚子(寄居)						ļ
さいた	ま市(8)	8	山田圭佑(第二東)	さいたま市			8	28			
-							-				
合計		52					52	192			

学校総合体育大会県大会(剣道)団体戦 会場役員校および係分担

	7/16(土)ま	女子団体戦			7/17(日)	男子団体戦			
第1試合場	第2試合場	第3試合場	第4試合場	第1試合場	第2試合場	第3試合場	第4試合場		
受付	東部2、西部2、南部2、さいたまで			受付	東部2、西部2、南部2、さいたま	市2			
入館誘導	東部2、西部2、南部2、さいたまで	† 2		入館誘導	東部2、西部2、南部2、さいたま	市2			
整列指導	東部2、西部2、南部2、さいたまで	† 2		整列指導	東部2、西部2、南部2、さいたま	市2			
駐車場ロータリー	西部2、南部2			駐車場ロータリー	西部2、南部2				
駐車場奥	東部2、さいたま市2			駐車場奥	東部2、さいたま市2				
駐車場役員	強化対策2			駐車場役員	強化対策2				
]検定(北部)				竹刀検定					
1	東部2、西部2、南部2、北部2、さ	いたま市2		1	東部2、西部2、南部2、北部2、	さいたま市2	ny ing Kranina.		
2	東部2、西部2、南部2、北部2、さ	いたま市2	Sale and Sale and Sale and	2	東部2、西部2、南部2、北部2、	さいたま市2			
3	東部2、西部2、南部2、北部2、さ	いたま市2		3	東部2、西部2、末部2、北部2、さいたま市2				
4	東部2、西部2、南部2、北部2、さ	いたま市2		4	東部2、西部2、南部2、北部2、	さいたま市2			
2階観客席	東部2、西部2、南部2、北部2、さ	いたま市2		2階観客席	東部2、西部2、市部2、北部2、さいたま市2				
	受付 入館誘導 整列指導 駐車場ロータリー 駐車場役員 (北部) ① ② ③ ④	第1試合場 第2試合場 受付 東部2、西部2、南部2、さいたます 東部2、西部2、南部2、さいたます 東部2、西部2、南部2、さいたます を列指導 西部2、南部2、南部2、さいたます 駐車場ロータリー 東部2、さいたま市2	受付 東部2、西部2、南部2、さいたま市2 東部2、西部2、南部2、さいたま市2 東部2、西部2、南部2、さいたま市2 整列指導 東部2、西部2、南部2、さいたま市2 西部2、南部2 東部2、さいたま市2 強化対策2 駐車場役員 強化対策2 (北部) 東部2、西部2、南部2、北部2、さいたま市2 東部2、西部2、南部2、北部2、さいたま市2 東部2、西部2、南部2、北部2、さいたま市2 東部2、西部2、南部2、北部2、さいたま市2 東部2、西部2、南部2、北部2、さいたま市2 東部2、西部2、南部2、北部2、さいたま市2	第1試合場 第2試合場 第3試合場 第4試合場 受付 東部2、西部2、南部2、さいたま市2 及前誘導 東部2、西部2、南部2、さいたま市2 整列指導 東部2、西部2、南部2、さいたま市2 駐車場ロータリー 西部2、南部2 駐車場段 東部2、さいたま市2 財車場段 強化対策2 「検定(北部) 「東部2、西部2、南部2、北部2、さいたま市2 東部2、西部2、南部2、北部2、さいたま市2 東部2、西部2、南部2、北部2、さいたま市2 東部2、西部2、南部2、北部2、さいたま市2 東部2、西部2、南部2、北部2、さいたま市2 東部2、西部2、南部2、北部2、さいたま市2 東部2、西部2、南部2、北部2、さいたま市2	第1試合場 第2試合場 第3試合場 第4試合場 第1試合場 第1試合場 第1試合場 第1試合場 第1試合場 第1試合場 第2試合場 第2試合場 第4試合場 第1試合場 第2式合場に、南部2、南部2、南部2、南部2、南部2、南部2、南部2、南部2、南部2、南部2	第1試合場 第2試合場 第3試合場 第4試合場 第1試合場 第2試合場 第2試合場 第2試合場 第2試合場 第2試合場 第2試合場 第2試合場 第2試合場 第2式合場 第2、西部2、南部2、古いたま市2 受付 ^{東部2、西部2、南部2、さいたま市2} 入館誘導 ^{東部2、西部2、南部2、さいたま市2} 差列指導 ^{東部2、西部2、南部2、さいたま市2} 差列指導 ^{東部2、西部2、南部2} 差列指導 ^{東部2、西部2、南部2、南部2} 駐車場ロータリー 駐車場奥 ^{東部2、さいたま市2} 駐車場奥 ^{東部2、さいたま市2} 駐車場奥 ^{東部2、さいたま市2} 駐車場役員 ^{強化対策2} 「大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、	第1試合場 第2試合場 第3試合場 第4試合場 第1試合場 第2試合場 第3試合場 第3試合場 第3試合場 第3試合場 第3試合場 第3試合場 第4試合場 第4試合場 第4試合場 第4試合場 第4試合場 第4試合場 第4試合場 第4式合場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会場 第4式会		



※館内警備の担当の先生方は、開始式の前にステージ前に集合してください。

学校総合体育大会県大会(剣道)個人戦 会場役員および係分担

				7/	/30(日):	女子(午青	前)			7/	30(日)男	子(午後	(2) 12時日	E面入口	集合でお	願いしま	す。
		第1試合場	第2試合場	第3試合場	第4試合場	第5試合場	第6試合場	第7試合場	第8試合場	第1試合場	第2試合場	第3試合場	第4試合場	第5試合場	第6試合場	第7試合場	第8試合均
会場役員	会場役員	30700 00							- 14								
校	役員校								100								
7時30	7公正	受付	東部2、西部	2、南部2、さ	いたま市2					受付	東部2、西部	2、南部2、さ	いたま市2				•
		入館誘導	東部2、西部	2、南部2、さ	いたま市2				7.4	入館誘導	東部2、西部	2、南部2、さ	いたま市2				
面入口		整列指導	東部2、西部	2、南部2、さ	いたま市2					整列指導	東部2、西部	2、南部2、さ	いたま市2				
でお原			東部2、西部								東部2、西部						
ます		駐車場奥	南部2、さい	たま市2						駐車場奥	南部2、さい	たま市2					
		駐車場役員	強化対策2							駐車場役員	強化対策2						
竹刀]検定(ホ	比部)								竹刀検定							
		1	東部2、西部	2、南部2、北	と部2、さいた	ま市2	Andrew Comment			1	東部2、西部	2、南部2、1	と部2、さいた	ま市2			
		2	東部2、西部	2、南部2、北	と部2、さいた	ま市2	***			2	東部2、西部	2、南部2、1	と部2、さいた	ま市2		***************************************	
館内	数准	3	東部2、西部	2、南部2、北	と部2、さいた	ま市2				3	東部2、西部	2、南部2、3	と部2、さいた	ま市2			
EE M	言1佣	4			と部2、さいた					4			と部2、さいた				
		四联合师			と部2、さいた					2階観客席	東部2、西部	2、南部2、北	と部2、さいた	ま市2			
		2階出入口	東部2、西部	2、南部2、北	と部2、さいた	ま市2				L_#1							

※館内警備の担当の先生方は、開始式の前にステージ前に集合してください。

※2階出入口は女子の退館時のお仕事になります。試合中に集合のアナウンスを行いますので、2階出入口に担当の先生は集合してください。



本紙含めて2枚

(様式1)

令和4年4月27日

中体連剣道専門部 部員数調査について

剣道専門委員長 中村 孝

令和4年度の埼玉県内の顧問の先生、外部指導者及び生徒数の調査を行います。目的、方法 は以下の通りですので、ご協力よろしくお願いします。なお、剣道部が設置されている全ての 中学校が対象となりますので、期日を守り、手順に沿ってよろしくお願いします。

1 使用目的

- ② 専門部内の組織作りへの活用
- ②各種大会への組織作りへの活用(今年度は関東中学校剣道大会が埼玉県開催)
- ③その他、各調査への対応資料

2 調査内容

- (1) 顧問に関すること
 - ①顧問氏名 ②教科 ③称号・段位 ④年齢 (差し支えなければご記入下さい。)
- (2) 生徒に関すること
 - ①学年別男女別部員数
 - ②卒業後の剣道部加入数
- (3) 外部指導者・運動部活動指導員に関すること (校長・市町村教育委員会が正式に認めている指導者) ①外部指導者氏名 ②称号・段位 ③剣道社会体育指導員 (資格を有しているか)

3 調査方法及び期間について

手順	日時	内容
1	4月27日(水)	専門委員長会議で資料配布及び資料説明
2	4月28日(木)~	専門委員長は地区の学校(剣道部設置校)に(様式1、
	5月6日 (金)	2) をFAXする。
3	~5月20日(金)	各校顧問は(様式1)で確認後、(様式2)を記入し、各
		地区理事(様式2の連絡先参照)にFAXで送信する。
		送信表はつけないで、(様式2)のみをFAXする。
4	~6月3日(金)	各地区理事で確認
		※未記入等がある場合には連絡をさせていただきますの
		で、その際はご協力ください。

送付先

東部 奈良康治 (大利根中 0480-72-3110) 南部 三摩和博 (朝霞第三 048-460-2280)

さいたま市 山田圭佑 (さいたま第二東中 048-643-3298)

問い合わせ先:総務部長 佐竹 士 (新田中) 1回048-942-9872

FAX送信表

(様式2)			中学	校		
	中体連角	间道専門部	部員数調查	を報告につい	て	
地区に〇を	つけてください					
東	西	<u> </u>	南	北	さ	
	式名称で) ダ	, 引: 小川町立東		学校電話		
			中学校		- v - -	_
			十子仪		A 奋 芍 -	_
顧問に関す	ること					
	顧問氏名		教科	称号	・段位 	年齢
1						
2						
3						
生徒に関す 1年男子	ること 人数の 2年男子	記入をお願い 3年男子		2 年女		3年女子
工十分丁	2年为丁	3 4 3 7	1 4 4 7	2 + 4	7 3	<u> </u>
剣道部の卒	_ 業生に関するこ	<u>.</u> .と 人数の記	 !入をお願いしま	 す。		
令和: 男子	3年度 剣道部			5等学校で剣道部 男子	に所属してい	
万 丁_	名	<u>女子</u>	<u></u>	5丁 名	<u> </u>	丁 名
外部指導者	・に関すること	(校長が正式に	 「認めている指導	(者)		
71 HP312 47 E	外部指導者			· · 段位	剣道社会	
1					員の	資格 無
2					有	<u>無</u>
	指導員に関する	こと				
	運動部活動指	導員氏名	称号	・段位	剣道社会	
1					員の有	<u>食俗</u> 無
2					有	無
	マ理事へ				L	
一人 の日地	立					
	7/	中学校		1	1	
FAX:	_		_			

学校総合体育大会兼関東・全国予選会実施要項

1. 目 時 ◆令和4年 7月 30日(十) 午前女子個人戦 午後男子個人戦 8 試合場

選手入場、受付(顧問・審判員)、検定開始

8:209:40

女子2F入館

女子1Fから退館し

男子は2F入館

開始式・試合開始予定

女子ベスト8 (5分×23試合=115分)約2時間

女子準々決勝(4試合場一斉 5分) 女子準決勝 (2試合場一斉 5分)

女子順位決定戦(1試合場一斉 5分)

女子決勝 (1試合場一斉 5分) $\sim 12:00$

女子終了式

12:10

☆男子個人戦選手入場、竹刀検定開始 男子個人戦受付·選手準備運動開始

12:2012:50

男子個人戦開始式・試合開始予定

13:40

男子ベスト8(5分×23試合=115分)約2時間

男子準々決勝(4試合場一斉 5分)

男子準決勝 (2試合場一斉 5分)

男子順位決定戦(2試合場一斉 5分)

男子決勝 (1試合場 5分) $\sim 1.6 : 1.0$ 終了式予定 16:20退館 16:50

◆令和4年 7月 16日(土)女子団体戦 7月 17日(日)男子団体戦

4 試合場

選手入場、受付(顧問・審判員)、検定開始 選手準備運動開始・審判監督会議

9:009:2010:00

開始式・受付終了予定

開始式終了10分後

試合開始予定 団体戦ベスト8 (20分×12試合=240分) ~14:10

団体戦準々決勝(4試合場一斉 25分)

団体戦5・6位決定戦(2試合場一斉 25分)

団体戦準決勝 (2試合場一斉 25分)

団体戦決勝 (1試合場 25分) $\sim 1.5 : 5.0$

終了式予定 16:00

退館

16:30

- 2. 主 埼玉県教育委員会·埼玉県中学校体育連盟 催
- 3. 後 援 公益財団法人埼玉県体育協会
- 4. 場 所 埼玉県立武道館
- 5. 試合方法 <団体戦>男女ともにトーナメント戦とする。

男女とも上位6校を関東大会、優勝校を全国大会の埼玉県代表とする。

男女とも5位、6位決定戦を準決勝の前に行う。

準々決勝より延長2分行う。勝負が決している場合、延長戦は行わない。

<個人戦>男女ともにトーナメント戦とする。

男女とも上位4名を関東大会、上位2名を全国大会の埼玉県代表とする。

- 6. 試合規則 全日本剣道連盟試合・審判規則及び細則、埼玉県中学校体育連盟剣道専門部申し合わせ事項による。
- 7. 参加者数 (1) 各地区予選通過チーム(者)とし、団体戦は男女ともに56チームとする。個人戦は男女ともに192名とする。
 - (2) 競技参加人数は、団体戦は男女とも、監督1名・選手5名・補員2名の計8名以内とする。個人戦の参加者には、 監督1名をつける。
 - (3) 外部指導者については中体連専門部申し合わせで定める。
- 8. 代表者会議 令和4年 7月 5日(火) 埼玉県立武道館

個人戦の抽選については常任委員会を経て、強化部が責任抽選する。

9. 表 彰

種目別 優 勝 準優勝 第 3 位 全国代表旗、カップ、賞状、 賞状、 賞状 団 体 10. その他 人 賞状、 個 賞状、 賞状

> 今年度は引率の先生方全員で、大会運営を行う必要があります。遠方からの来場等、多々諸事 情あるとは思いますが、大会当日は8時に御来場をお願いします。

別紙「参加の皆さんへのお願い」「大会日程」を熟読の上、新型コロナウイルス感染症拡大防止 及び円滑な大会運営に御協力をお願いします。

剣道競技 試合要項(案)

埼玉県中体連剣道専門部 競技部

1, 試合について

- ・全日本剣道連盟(以下、全剣連)試合、審判規則同細則、全剣連「主催試合実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」、並びに埼玉県中体連剣道専門部(以下、中体連)申し合わせ事項に則る。
- ・全剣連より 「新型コロナウイルス感染症が終息するまでの暫定的な試合・審判法」
 - 1. 新型コロナウイルス感染症が終息するまでは暫定的な試合・審判法を感染状況等踏まえながら大会実施要項に定める。
 - 2. 試合時間の短縮、延長戦は区切って行い休憩を取り入れる等、マスク着用による熱中症対策を積極的に取り入れる。
 - 3. 試合者は、鍔迫り合いを避ける。接触した瞬間の引き技、及び体当たりからの技(発声を含む)は認める。やむを得ず鍔迫り合いとなった場合、試合者はただちに分かれる。審判員は鍔迫り合いを解消しない場合には、ただちに「分かれ」を宣告する。また1)意図的な「時間空費」2)「防御姿勢(勝負の回避)による相手に接近するような行為は、試合審判規則第1条に則し反則とする。」この問題については、審判の裁量だけで解決するのは困難であるため、事前に試合者に対して、十分に指導、徹底することが必要である。
- ・統一事項(全剣連資料より)
 - ①マスクは鼻と口を覆う。
 - ②鍔迫り合いをしない試合を心がけさせる
 - ③鍔迫り合いになってしまった場合の対処。(分かれが多用されないように)
 - ・やむを得ず鍔迫り合いになってしまった場合はただちに分かれるか引き技をだす。
 - ・鍔迫り合いの解消は、お互いにいったん間合いを完全に切る。
 - ・場外間際での鍔迫り合いに関しては場外反則の恐れがある場合は主審が「やめ」をかけ、試合者を開始 線に戻す。
 - ・相互に分かれようとしている途中の打突は有効打突とはしない。場合によっては反則を適用する。
 - ④反則となる行為
 - ・一方が分かれようとするとこについていく、追いかける行為は反則となる。
 - ・鍔迫り合い解消途中で、完全に間合いが切れていないところで前に出る、技を出す行為は反則となる。
 - ⑤団体戦は試合時間3分3本勝負。勝負の決しない場合は引き分け。
 - ⑥団体戦における代表戦は3分1本勝負。勝負の決しない場合の延長は、(神奈川全中の資料より)

試合時間3分→延長2分→延長2分→(小休止・深呼吸程度)→

延長2分→延長2分→(面を外して休息・給水3分)→

延長2分→延長2分→(小休止・深呼吸程度)→

延長2分→延長2分→(面を外して休息・給水3分)→繰り返す

なお、給水場所については選手控え場所とし、その際顧問とのコミュニケーションは原則認めない。

⑦個人戦は試合時間3分3本勝負。勝負の決しない場合の延長は、団体戦代表戦に準ずる。

※長期の活動停止期間かつ面マスク着用での試合実施による選手の体調面を考慮し、団体戦における代表 戦、個人戦の延長については、上記の形で配慮する。

2, 試合の参加について

- ・従来の参加規程を遵守する。
- ・全剣連からの指示にある「面マスク」、並びに中体連申し合わせにより、「フェイスガード」の着用を義務とし、着用できない選手の参加は認めない。面マスク及びフェイスガードの規程は特に設けないが、一般に市販されている物や、全剣連から示された物等、競技に支障なく、かつ公正であるものを使用する。なおフェイスガードについてはマウスガードのみでの着用も可とする。
- ・大会に出場を予定している選手は2週間前から体温チェック等、体調管理を行う。当日は体調に問題がなく、かつ入館時にサーモグラフィと、赤外線式による検温チェックを通過した選手(生徒)のみ、大会に参加できるものとする。
- ・出場校の顧問は選手、生徒の『体調管理票』を受付時に提出するものとし、未提出及び内容に不備がある学校、選手の出場を認めない。

3, その他

- ・ 令和3年学校総合体育大会の抽選については令和2年新人戦のベスト4をシードとして抽選を行う。 — 以降新人体育大会兼県民総合スポーツ大会はベスト8までをシードとして例年通り抽選を行う。
- ◆ 令和3年12月25・26日に実施された「新人兼県民スポーツ大会代替試合」により
- <u>ベスト8に入った学校の地区を順位ごとシード枠に「地区」として設けることとする。</u>
- <u>ベスト8のシード枠はトーナメント表に表記しておく。</u>
- ・昨年度は新人戦が実施できなかったため、令和4年度学校総合体育大会はシード校の4校枠を設けないこととする。
- ・館内では原則マスクを着用する。
- ・試合会場内での集合やミーティングは行わない。行う際は、会場外でフィジカルディスタンス (1 m以上離れる) に配慮した形で行う。
- ・競技役員は個人戦(生徒役員)団体戦(生徒役員)で行う。 (計時1名、タイマー旗1名、記録1名、掲示2名、必要に応じて交代)
- ・各試合場の役員席には、「審判主任・試合場主任・計時・タイマー旗・記録・会場主任」の6名が着く。
- ・入館入口や各会場に消毒は用意するが、各校でも可能な限り準備する。
- ・「試合場数を限定する」「選手の待機場所は、各主審の両手側にそれぞれ設置する」等、できる限りの「密」 対策を図る。
- ・会場内に観客席がある場合、1席ごとに「使用禁止」等の紙を置き、1席空けて座る等、観客席での「密」についても解消を図る。その際、その紙が置いてあるところ(観客間)に荷物を置いて良いこととする。
- ・その他、「参加の皆さまへのお願い」(別紙)にある内容に協力していただく。

新人体育大会兼県民総合スポーツ大会実施要項

1. 日 時 令和4年10月24日(月)女子団体戦 10月25日(火)男子団体戦 4試合場

選手入場、受付(顧問・審判員)、検定開始 9:00

選手準備運動開始・審判監督会議 9:20

開始式·受付終了予定

10:00

試合開始予定

開会式終了10分後

団体戦ベスト8 (20分×12試合=240分) ~14:10

団体戦準々決勝(4試合場一斉 25分)

団体戦5・6位決定戦(2試合場一斉 25分)

団体戦準決勝 (2試合場一斉 25分)

団体戦決勝(1試合場25分)~15:50終了式予定16:00

退館 16:30

- 2. 主 催 埼玉県教育委員会·埼玉県中学校体育連盟
- 3. 後 援 公益財団法人埼玉県体育協会
- 4. 場 所 埼玉県立武道館
- 5. 試合方法 <団体戦>男女ともにトーナメント戦とする。
- 6. 試合規則 全日本剣道連盟試合・審判規則及び細則、埼玉県中学校体育連盟剣道専門部申し合わせ事項による。
- 7. 参加者数 (1) 各地区予選通過チームとし、団体戦は男女ともに56チームとする。
 - (2) 競技参加人数は、団体戦は男女とも、監督(部活動指導員も可)1名・選手5名・補員2名の計8名以内とする。
 - (3) 外部指導者については中体連専門部申し合わせで定める。
- 8. 代表者会議 令和4年10月11日(火) 埼玉県立武道館

9. 表 彰	種目別	優勝	準優勝	第 3 位
	団体	カップ、賞状、	賞状	賞状

10. そ の 他 今年度は引率の先生方全員で、大会運営を行う必要があります。遠方からの来場等、多々諸事情あるとは思いますが、大会当日は8時に御来場をお願いします。

別紙「参加の皆さんへのお願い」「大会日程」を熟読の上、新型コロナウイルス感染症拡大防 止及び円滑な大会運営に御協力をお願いします。

新人体育大会兼県民総合スポーツ大会 兼埼玉県剣道大会(中学校の部)実施要項

1. 日 時 令和3年11月12日(土)午前女子個人戦 午後男子個人戦 8試合場

選手入場、受付(顧問·審判員)、檢定開始

8:20 9:30

女子2F入館

女子2下から退館し

男子は2F入館

開始式·試合開始予定

女子ベスト8 (5分×23試合=115分)約2時間

女子準々決勝(4試合場一斉 5分)

女子準決勝 (2試合場一斉 5分)

女子順位決定戦(1試合場一斉 5分)

女子決勝 (1試合場一斉 5分) ~12:00

女子終了式 12:10

☆男子個人戦選手入場、竹刀検定開始 12:20

男子個人戦受付・選手準備運動開始12:50男子個人戦開始式・試合開始予定13:30

男子ベスト8 (5分×423合=115分)約2時間

男子準々決勝(4試合場一斉 5分)

男子準決勝 (2試合場一斉 5分) 男子順位決定戦 (2試合場一斉 5分)

男子決勝 (1試合場 5分) ~16:00

終了式予定16:10退館16:40

- 2. 主 催 埼玉県教育委員会・埼玉県中学校体育連盟・(公財) 埼玉県剣道連盟
- 3. 後 援 公益財団法人埼玉県体育協会
- 4. 場 所 埼玉県立武道館
- 5. 試合方法 <個人戦>男女ともにトーナメント戦とする。
- 6. 試合規則 全日本剣道連盟試合・審判規則及び細則、埼玉県中学校体育連盟剣道専門部申し合わせ事項による。
- 7. 参加者数 (1) 各地区予選通過者とし、男女ともに192名とする。
 - (2) 個人戦の参加者には、監督または部活動指導員1名をつける。
 - (3) 外部指導者については中体連専門部申し合わせで定める。
- 8. 代表者会議 令和3年10月12日(火) 埼玉県立武道館 抽選については常任委員会を経て、強化部が責任抽選する。
- 9.表
 彰
 種目別
 優
 勝
 準
 優
 勝
 第
 3
 位

 個
 人
 賞状、メダル
 賞状
 賞状

※埼玉県剣道連盟より 優勝~5位、賞状、トロフィ

10. その他 今年度は引率の先生方全員で、大会運営を行う必要があります。遠方からの来場等、多々諸事情あるとは思いますが、大会当日は7:30時に御来場をお願いします。

別紙「参加の皆さんへのお願い」「大会日程」を熟読の上、新型コロナウイルス感染症拡大防 止及び円滑な大会運営に御協力をお願いします。

令和4年度学校総合体育大会兼関東・全国予選会について **運営及び試合申し合わせ事項(県立武道館)**

1. 武道館使用上の注意

- ◆駐車場について
 - ① 役員、審判員(生徒引率をしない)は武道館駐車場へおいて下さい。 (学総体ではプール公開の関係で許可証を配布しますので提示して下さい。)
 - ② 選手はプール駐車場を利用して下さい。
- ◆入館について
 - ① 会場役員の生徒(個人戦のみ)は1階役員駐車場側通用口より入場。(役員校の選手は入館不可)
 - ②< 団体戦>

監督・選手は2F正面玄関前に集合、規定の時間に学校ごとまとまって入館する。 IDは配布しない。 <個人戦>

選手・監督【校長・教員・部活動指導員(以下「指導員」)】、応援者、生徒役員は各学校まとまって 2F正面玄関から入館。選手IDがないので、各校監督が責任を持って、選手、応援者を入館させる。(学 校から1名のみの参加選手についての準備運動・練習は、同地区内で協力する。) 退館は個人戦女子参 加選手、関係者は2Fから退館する。

<保護者等>

団体戦:選手監督入館後、2Fより各学校応援者まとまって保護者代表が「体調管理票」を提出し入館する。

個人戦:学校ごとに【顧問、選手、応援者】2Fから入館

- ③ 応援席は事前に割り振りますので譲り合って利用して下さい。
- ④ 貴重品の管理を徹底して下さい。(盗難が多発しています)
- ⑤ 靴袋を用意して下さい。(靴の取違いも多発しています)
- ⑥ 雨天時は、各校でビニール袋を用意し、傘などは各校でまとめて管理をしてください。くれぐれも 館内 をぬらさないようにご協力お願いします。

◆受付について

- ① 個人戦については、男女それぞれ規定の時間を目安に、各試合場へ選手本人がオーダー表(番号を各自で記入したもの)を提出し、完了とする。(※詳細は「竹刀検量」)
- ② 個人戦監督、並びに外部指導者のIDについては行わない。2F入口にて体調管理票での確認とする。
- ③ 団体戦については、2F入口にて監督がオーダー表を提出し、完了とする。
- ◆応援について (コロナ対策)
 - ① 席割り表(応援者席割り振り図にしたがって座って下さい。(責任者:副委員長、地区理事)
 - ② 主道場は選手・監督・部活動指導員・役員以外は試合場に降りられません(男女規制含む・主道場入口で担当が確認します)*外部指導者主道場で応援可とする(専用の席を設ける) *巡回警備中に確認しますので、各校厳守して下さい。
 - ③ 座席は一席空けて座るようにする。(座席に注意書きのプリントを置く予定)
- ◆女子の更衣について

第1道場(柔道場)を使用してください。荷物は、更衣後主道場観覧席に移動して下さい。 7月30日は第1道場が使用できないため、各更衣室で更衣をしてください。

- ◆昼食について
 - ① 昼食時間は設けませんので、各校適時にとって下さい。 (飛沫防止のため応援席で会話をしない)
 - ② 主道場観覧席、1階・2階の通路でとって下さい。

2. 開始式について

- (1) 開始式の整列隊形は、第1試合の選手、第2試合の選手は主道場の待機場所で待機。その他の選手は応援席で待機する。
- (2) 審判員は、それぞれの試合場にて待機する。

3. 試合について

- (1) 2大会(学校総合、新人)とも、女子ベスト8→男子ベスト8→男女準々決勝(学校総合は5,6位決定戦)→男女準決勝→男女決勝の順とする。
 - ※試合開始は、第一試合の開始は団体の挨拶、個人は正面の挨拶を本部アナウンスにより一斉に行い、 選手は試合開始の合図を待つ。

- ※布製の垂れネームは、黒または、紺地に白字で学校名(「中」を含む通称可)・姓を明記すること。 また、同姓の場合は、必ず「名」を明記すること。
- (2) 紅白の目印を持参する。
- (3) 若い番号を赤とする。
- (4) 監督は出場校勤務の校長・教員・指導員を原則とする。(監督章を名札につける)
- (5) その他
 - ① カメラのフラッシュ・ストロボを禁止する。携帯電話での撮影についても充分留意する。
 - ② 裸足で外に出ない。
 - ③ オーダー表はHP上のテンプレートを使用して作成する。

4. 入館から竹刀検量・準備運動について

- (1) 検定は一階ロビーで行う。竹刀検定を通していない竹刀を使っての準備運動・稽古は厳禁とする。 会期が連続していないため、試合当日に必ず使用する竹刀を検定すること。
- (2) 準備運動は、検量で許可を得た選手が、規定の時間・場所で行うものとする。竹刀等での場所取りは禁止とする。

時間	個	人戦	時間	団 体	z 戦	
選手別	女子選手	男子選手		女子選手	男子選手	
8:10		馆開始 试合者優先		会場 役員扌		
	(総務部・	指導普及部)		仅具1] ,	
8:20	役員打ち合わせ					
	受付:竹刀検量					
	①~⑧試合者優先					
8:40	①~⑧試合者			1 F入負	馆開始	
	準備運動開始		8:40	①~④試	合者優先	
	⑨~試合者竹刀検量			(総務部・指	育尊普及部)	
9:05	受付•各種検量終了					
	①~⑧試合者		8:45	竹刀検	量開始	
	準備運動終了		8:45	①~④試合者優先		
	⑨~準備運動開始					
9:30	⑨~準備運動終了		0 . 1 0	①~④試合者	準備運動開始	
			9:10	⑤~試合者例	了刀検量開始	
9:40	開始式·試合開始			受付・各種	É検量終了	
			9:30	1~4	試合者	
			9:30	準備運	動終了	
				⑤~準備:	運動開始	
12:20	退館	入館				
		①~⑧試合者優先	9:50	⑤~準備:	運動終了	
		(総務部・指導普及部)				
12:20		受付:竹刀検量	10.00	日日よん一十	24 A. III A. 4€	
		①~⑧試合者優先	10:00	開始式・	武石 開始	
12:50		①~⑧試合者				
		準備運動開始				
		⑨~試合者竹刀検量				
13:15		受付・各種検量終了				
		①~⑧試合者				
		準備運動終了				
		⑨~準備運動開始				
13:40		⑨~準備運動終了				

※令和元年4月付けで全日本剣道連盟より通達された竹刀の新基準について、今年度より適応となる。各地区大会より、新基準での検定をお願いしたい。検定キッドについては、全剣連HPや各武道具店等へ問い合わせをするとよい。



5. シード権について

- (1) 学校総合体育大会
 - 団体戦・・・新人体育大会のベスト8をシードとし、シード校が予選で敗退した場合、その学校のある 予選地区にシード権を与える。
 - ・ 令和 3 年 12 月 25・26 日に実施された「新人兼県民スポーツ大会代替試合」により
 - <u>ベスト8に入った学校の地区を順位ごとシード枠に「地区」として設けることとする。</u> <u>ベスト8のシード枠はトーナメント表に表記しておく。</u>
 - ・昨年度は新人戦が実施できなかったため、令和4年度学校総合体育大会はシード校の4校枠を設けないこととする。
 - 個人戦・・・強化対策委員会で責任をもって組み合わせを行う。
- (2) 新人体育大会
 - 団体戦・・・学校総合大会のベスト8をシードとし、予選で負けた場合はその予選地区の場で当てる。 個人戦・・・強化対策委員会で責任をもって組み合わせを行う。
 - ※同一予選母体から複数シード校が出場する場合、同一ブロックにならないよう配慮する。ただし、準決 勝以上の組み合わせについては、その限りではない。
 - ※さいたま市から9校以上出場の場合、初戦での対戦にならないよう配慮する。

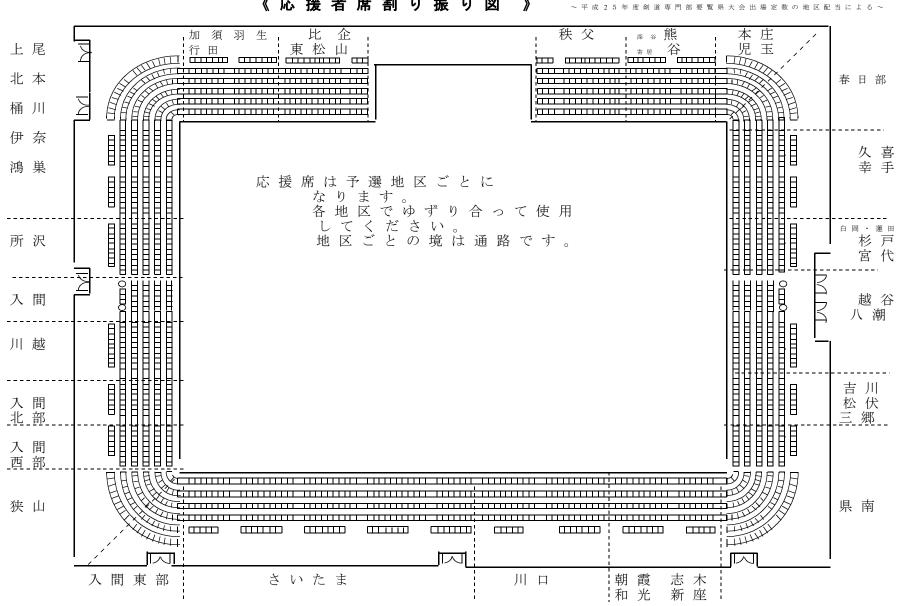
6. 会場役員について

- ・競技役員について団体戦、個人戦において収容人数に個人戦には余裕があるため、必要人数のみ生徒役員と する。(計時/タイマー旗1名、掲示2名。休憩等、必要に応じて交代)
 - ※団体戦(生徒役員) 個人戦(生徒役員)
- ・各試合場の役員席には、「審判主任・試合場主任・記録・計時・タイマー旗・会場主任」の6名が着く。
- ・入館入口や各会場に消毒は用意するが、各校でも可能な限り準備する。
- ・「試合場数を限定する」「選手の待機場所は、各主審の両手側にそれぞれ設置する」等、できる限りの「密」 対策を図る。また、今大会では「外部指導者席は設けない。」よって外部指導者は主道場に入ることはできな い。

7. その他

- (1) 県大会の準備・運営・後片付けは専門部役員が中心となり、大会参加全顧問の協力により、実施するものである。
- (2) 各大会で大会日誌を記録し(当番地区副専門委員長)、次回大会への引き継ぎとする。
- (3) 各大会終了後、常任委員会を開き、大会の反省を話し合うとともに次行事への準備に当てる
- (4) 県立武道館以外の会場準備は大会前日の夜に専門部役員を中心に行う。 (会場の日程等で当日準備に変更の可能性もある)

《応援者席割り振り図



【審判部・競技部兼用】

県大会審判·競技役員

埼玉県中体連剣道専門部

地区名 東 ・ 西 ・ 南 ・ 北 ・ さいたま市

予選地区 (報告者()

1 県大会審判名簿

2 7/7/24 17 17 17			田 七	/IEI /	用 フ.	団体	47	国体	
			为女	他人	力丁	四件	女子	四件	
氏名	学校名	学坛友	段位	(7/	個人30)	(7/	17)	(7/	·団体 ´1 6)
八石		权似	午	午	午	午	午	午	
			前	後	前	後	前	後	

※可能な日に ○ を記入

2 県大会競技役員名簿

пь	24+4-57	段位	男女 (7 <i>/</i>	個人 30)		団体 17)	女子 (7 <i>/</i>	団体 16)
氏名	学校名		午前	午後	午前	午 後	午 前	午 後

※可能な日に ○ を記入

3 生徒役員

※1日生徒引率可能、1日生徒役員可能、1校で6名役員可能な学校。

※計時1名、旗1名、記録1名、掲示3名 計6名 昼食は個人戦男女交代時にとる。

学校名	男女個人 (7/30)		男子団体 (7 / 1 7)		女子団体 (7 / 1 6)	
	午 前	午 後	午前	午 後	午 前	午 後

※生徒役員の健康チェックシートは選手と同じものを使用してください。

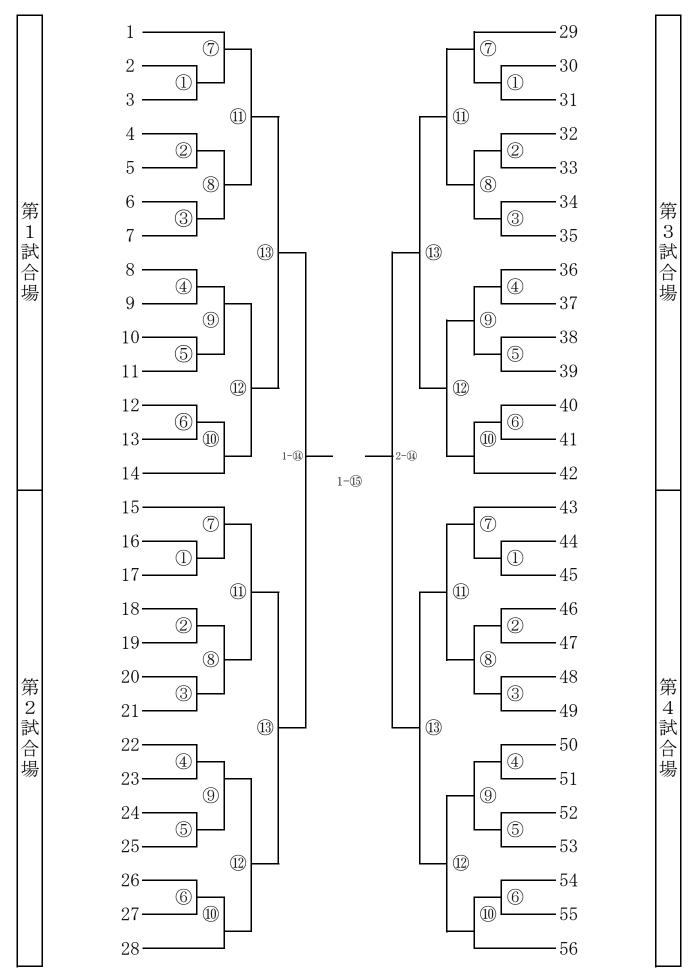
【諸注意】

- ○引率者は必ずどちらかの名簿に入ります。
- ○各予選母体の専門委員長は、県代表者会議の際、この資料を3部御提出ください。提出先→ ① 審判部部長 ② 競技部部長 ③ 各地区 地区理事

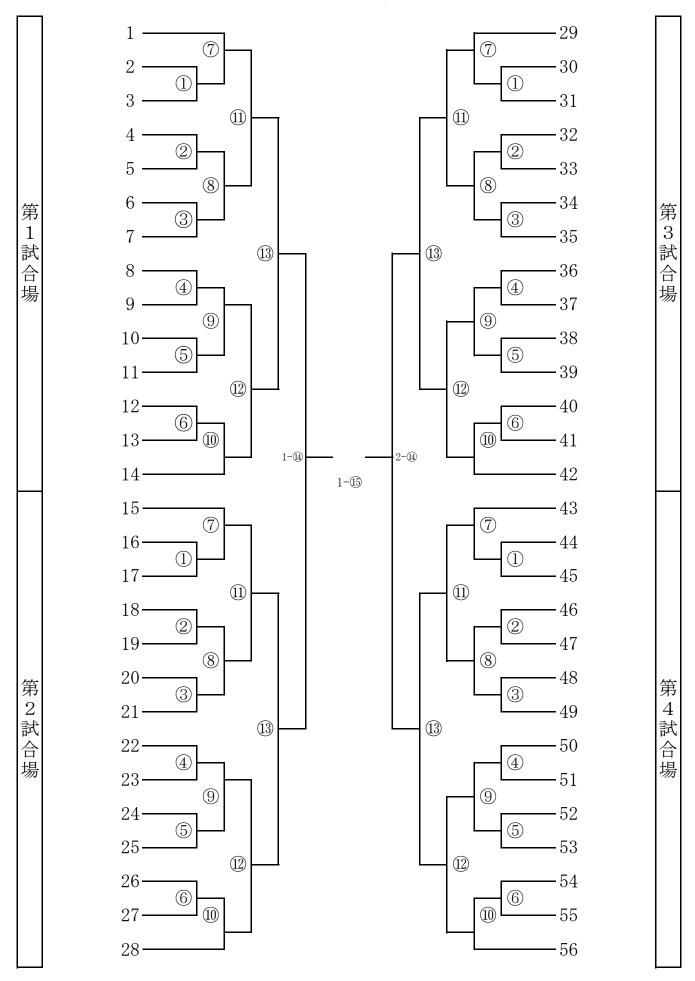
【重要(厳守)】

- ○R4年度の学校総合体育大会に関して 個人戦:生徒役員、教員 団体戦:教員 とします。(変更の可能性有)
- ○大会の運営組織を決めるため、各地区予選終了3日以内に、下記までFAX願います。 久喜市立久喜中学校 保志(FAX:0480-24-1775) ※鏡文は必要ありません。

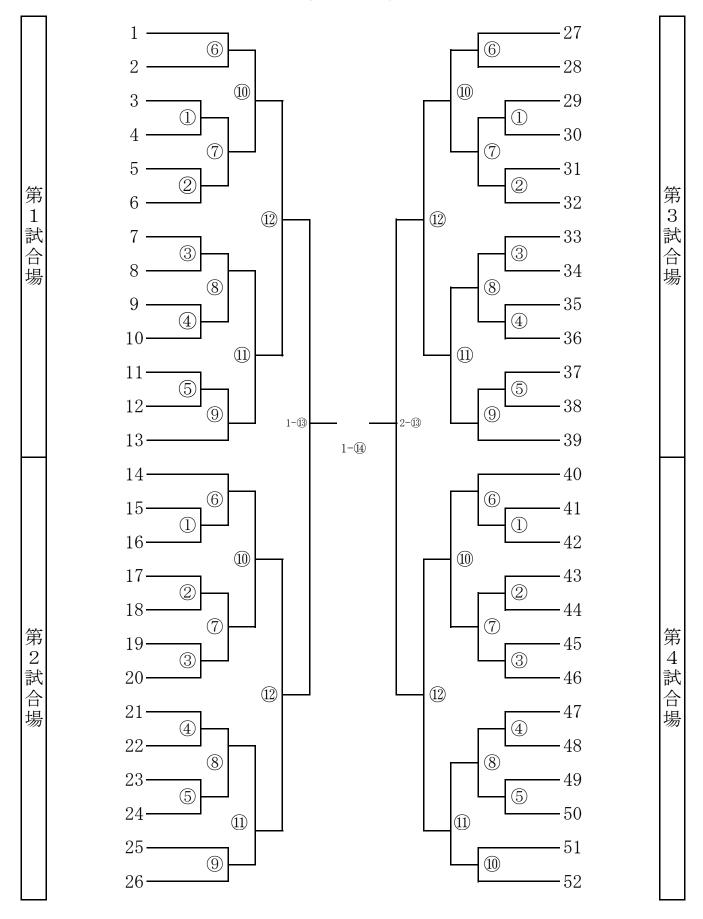
※女子の部※



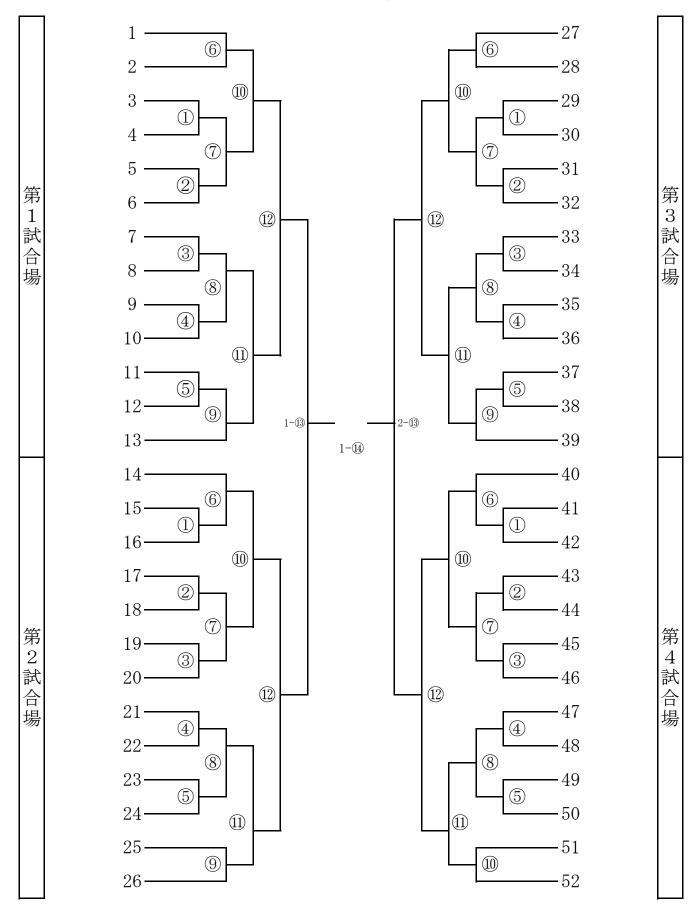
※男子の部※

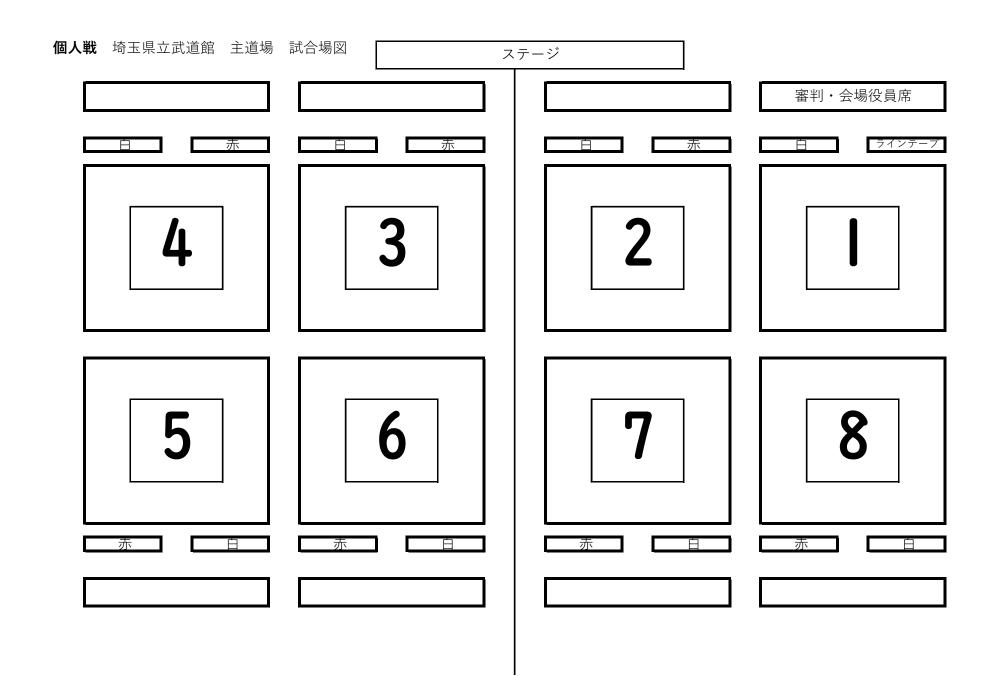


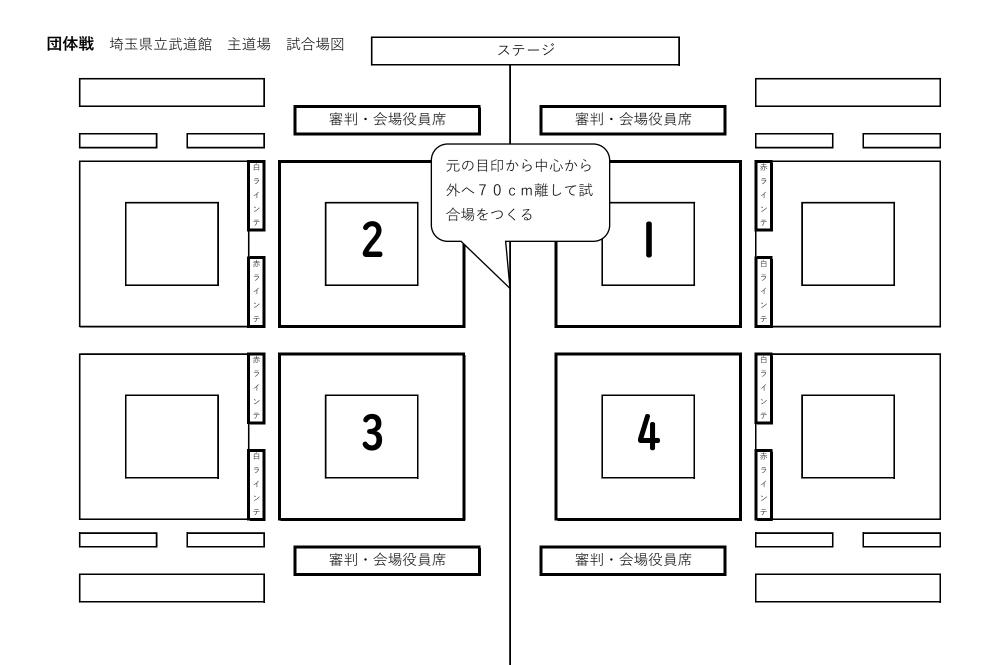
※女子の部※

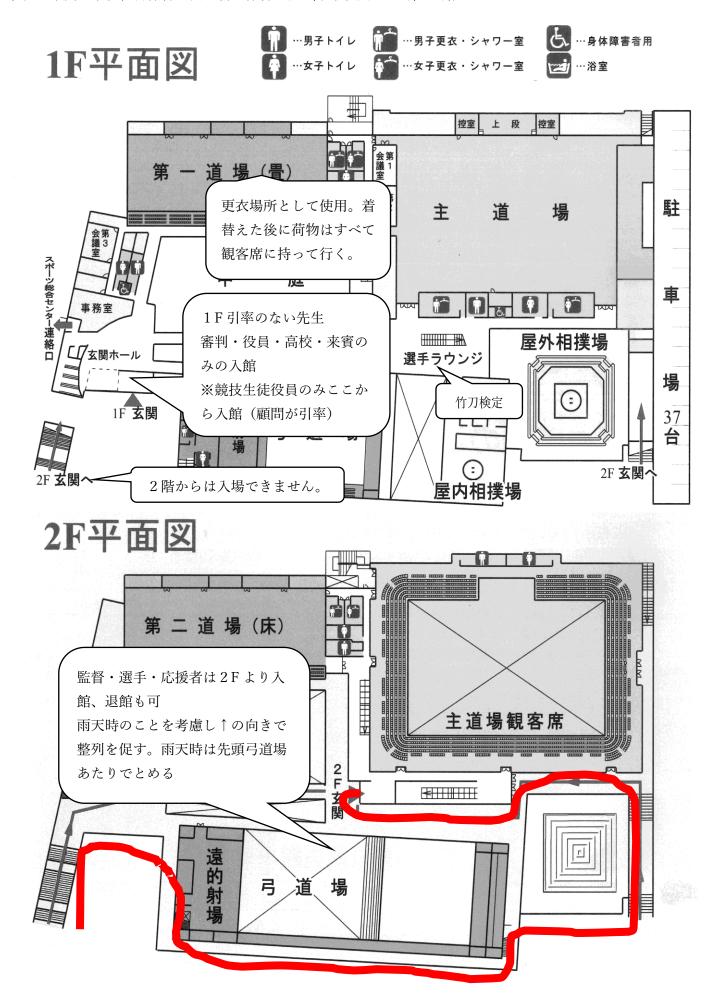


※男子の部※









埼玉県中体連剣道専門部 審判部

R4 専門委員長会議資料

R3 年度 男女個人戦 審判長・審判主任・副主任より R3.7.18

○【審判について】

- ・有効打の見極めについては概ね良かった。
- ・新型コロナ対策の暫定的なルールにおける審判法や所作が理解できていない審判員がみられた。
- ・所作について講習会が必要と思われる。(旗の振り方、動かさない、体側になど)
- 分かれを安易にかけない。
- ・打突後は一呼吸おいて旗をあげる。(残心の見極めなど)
- ・竹刀が袖に引っかかったとしてもすぐに「止め」をかけない(基本的には自分たちで解消させる)
- ・審判員が試合者を上回ることが大切。
- 新ルールの判定にバラつきがある。
- ・鍔迫り合いの反則が取れない。(解消途中で技を出す、竹刀を払う)
- ・副審同士の距離間の連携がとれていない
- ・当日欠席の先生がいたので少なった。
- ・コロナの暫定ルールは概ね良かった。
- ・玄妙な技、離れ際の引き技がとれていない
- ・位置取りをもって早く
- ・審判旗を持参している先生が少ない
- ・お互いの選手が別れようとしているのに、分かれをかける主審がいた
- ・白線を背負った状態で鍔迫り合いとなり、間合いを切ったら場外反則となってしまった。
- ・マスク着用のため、声が聞こえにくい人がいる。

○【試合について】

- ・鍔迫り合いが少なく剣道が良くなっている。
- ・道着の刺繍がワッペンと紛らわしい学校があった。
- ・鍔の色で指導した
- ・マスクから鼻が出て中止要請がいくつかあった。
- ・一回戦は試合順を把握していない選手が見受けられた。

○【大会運営について】

- ・監督がノーネクタイの方がいて注意した。(知らない、言われていないと言った。態度が悪い人がいた)
- ・来年の埼玉関東に向けて改善していく
- ・プラグラム試合順の記載ミス
- ・生徒引率のない先生方のプログラム配布場所と引率のある先生へのプログラム配布場所の混乱があった。
- ・定数を削減した方がよいのではないか。
- ・各試合場への連絡の部分で、本部と違っていることがあったので統一をお願いします。(開始線の内側を通るように→外側を通る。3決の正面への礼を行う指示→いらない)
- 監督が時計をつけていた。
- ・3位決定戦、決勝が同時に開始した際は早く終了した試合は正面に礼は必要か。
- ・検量シールは弦の上から張るのが良いのか?

R3 年度 学総 (男子団体戦) 審判主任より R3.7.27

○【審判について】

- ・有効打突の見極めは位置取りが大切
- ・有効打突の見極めができていた
- ・暫定ルールにだけとらわれずに不当な鍔迫り合いや、時間空費の判断もできていた。
- ・主審をお願いしている技量の高い先生方を中心にスムーズに進行することができた。
- ・反則の内容を選手に説明するときは大きな声で伝えるべき、声が小さく周囲も反則なのか分からなった。
- 後追いをする習慣をつける。
- ・審判法を勉強する必要がある。
- ・所作についての講習会が必要
- 各地区予選などで指導、経験しておく必要がある。

○【試合について】

- ・第35条(異議申し立て)について、判定に対し、異議申し立てはできない。主任は監督からの申し立てを受け付けない。
- ・応援の声が大きくなってきている。主任の先生からの指導が必要。
- ・試合前の円陣やパフォーマンスがある。(整列時の発声なども)

○【大会運営について】

- ・会場役員が各試合場4名では少ないと感じた。審判が多くて良いが、会場役員に振り分けていいと思う。
- ・審判員席を「次の審判席」のように設置してはどうか。

R3 年度 学総(女子団体戦)

R3. 7. 30

○【審判について】

- ・3日間通して審判員の技能は向上したように思います。
- ・暫定ルールについて、今後も勉強が必要だと感じた。
- ・旗の持ち方について何名かに指導した。
- ・入る時の一歩目の足は開始線のある方から。
- ・胴技の判定が厳しかった。
- ・審判員席で審判員がスマホを操作しているのはいかがなものか。

○【試合について】

- ・試合前のチーム発声があった。(円陣、礼の後の発声)
- ・試合場に4名のコーチが入っている。
- ・鍔迫り合いの反則がほとんどなかった。
- ・鍔の色が紫だった選手がいた。
- ・余計な所作、パフォーマンスをしている学校あり。禁止されている。
- ・整列時に小手下を付けている選手がいたが取らせるべきか?

○ 【大会運営について】

- ・出場校の名前間違いはしないようにしたい。
- 審判員の入場を揃える(第一試合、準決、決勝など)→関東に向けて練習が必要
- ・県大会でも今回実施した審判員席の配置で行ったほうがいい
- ・団体戦の席の後ろに次のチームの席を作ると入れ替えがよりスムーズになると思う。
- ・ステージ前を選手立ち入り禁止にしてよかった。

審判部 R3 反省

(学校総合体育大会)

- ・検量シールは弦の上から張るのが良いのか?
- ・県大会でも今回実施した審判員席の配置で行ったほうがいい



○次の審判員席については、作れるのであれば作っていきたい。(人の流れを規制していれば可能?)

<反則事項>

・暫定ルールにだけとらわれずに不当な鍔迫り合いや、時間空費の判断もできていた。

<有効打突>

- ・玄妙な技、離れ際の引き技がとれていない
- ・有効打突を取るまでに、残心までの後追いができていない。

<試合運営>

- ・マスクから鼻が出て中止要請がいくつかあった
- ・応援の声が大きくなってきている。主任の先生からの指導が必要。
- ・試合前の円陣やパフォーマンスがある。(整列時の発声なども)
- ・各試合場への伝達事項の統一

<その他>

- ・各試合場への連絡方法を統一できると良い。
- ・暫定的な試合審判法については、まだ継続される。
- ・膝立ち蹲踞の選手は、そのままの状態から「はじめ」とする。

埼玉県県大会、監督・審判打ち合わせ事項

※本大会は、(財)全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則、剣道試合・審判細則」及び

「(公財) 日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項」・「埼玉県県大会、監督・審判打合せ事項」に準じて 行う。

1. 試合規則に関すること

- (1) 団体戦は、3分3本勝負、勝敗の決しない時は引き分けとする。
- (2) 個人戦は、3分3本勝負、勝敗の決しない時は、時間を区切らず、勝敗の決するまで延長戦を行う。
- (3) 団体戦で、同勝者数、同本数になった場合は、任意の選手による代表者戦行う。 3分1本勝負。勝敗の決しない時は、延長戦を行う。延長戦は時間を区切らず勝敗の決するまで行う。

→ (2) (3) の延長に関しては、全中感染症対策に準ずる。(埼玉県中体連剣道専門部審判部県大会での 感染症対策審判関係について)

- (4) 学校総合体育大会では、団体戦の準々決勝からは、各試合3分で勝敗の決しない場合に1回のみ2分の延長戦を行う。延長戦でも勝敗が決しない場合は、引き分けとする。なお、団体戦の勝敗が決した後の試合の延長戦は行わない。
- (5) 開始線は、中心より140cmの位置とする。
- (6)「反則」は、規則に準じ厳格に取る。特に「公正を害する行為」「鍔迫り合い」「故意の時間の空費」等は、しつかりと見極める。
- (7)「場外反則」については、厳格にとる。(ただし、1打突、1体当たりを原則とし、相手を不当に押し出した場合については、しっかりと見極める。)
- (8)「変形の構え」等の防御姿勢を取った場合は、合議の上1回目は「指導」、2回目 降は「公正を害する行為」として「反則」とする。
- (9)「突き」及び「片手打ち」は有効としない。特に故意に仕掛けるような「突き」は、「公正を害する行 為」として反則とする。
- (10) 上段は執らせない。(隻腕についてはその都度協議する。)
- (11)「場外」「竹刀を落とす」以外の「反則」については、「合議」の上、「宣告」する。なお、「反則」を取る場合については、「反則」の内容を選手に説明した後、「宣告」を行う。
- (12) 竹刀の検定を実施する。
 - ・竹刀は、男女とも長さ 114 cm (約3尺7寸) 以内。重さは男子 440 g 以上・女子 400 g 以上とする。
 - ・ 先革の太さは、 男子 25 mm以上、 女子 24 mm以上とする。 長さは 50 mm以上とする。
 - ・鍔は皮革または化学製品のものとする。その大きさは直径 9 cm以下のものとし竹刀に固定する。色は茶色、または白とする。リバーシブル鍔については、茶色面を上に向けて使用することで、使用を認める。これら以外のものを使用した場合には、その場で指導し、替えさせる。弦の色の規定はありません。
- (13) 検定に合格した竹刀には、検量確認のテープを貼る。(埼玉県中体連県道専門部申し合わせ事項参照)
- (14)「不正な竹刀」を使用した場合、発覚した時点でその選手を失格(負け、相手に2本与える。既得権は無効。)とする。以後、その大会での出場はできない。「不正な竹刀」とは「検定で合格していない竹刀」、「ビニールやセロテープを巻いた竹刀」、「異物を挿入した竹刀」(異物とは先革のゴム、柄頭のチギリー鉄片一以外のすべてをいう。)※カーボン竹刀の使用は可。
- (15) 検定は、団体戦、個人戦別々に行う。ただし、団体戦で合格した竹刀は、個人戦では簡易検量とする。

2. 試合運営に関すること

- (1) 審判員の服装は、紺色のブレザー、白のワイシャツ(カッターシャツも可、ボタンダウンは不可)、無地でグレーのスラックス(女子はグレーのスカートも可)、エンジのネクタイ、紺色の靴下とする。 (ブレザーの着用については、審判長の指示とする。)また、ネクタイピンは見えないところに付ける。 監督・外部指導者の服装もこれに準ずる。
- (2)選手・監督・競技役員(補助生徒も含む)以外は、試合場には入らない。 部活動指導員は、監督として試合場に入ることができる。外部指導者は、監督として試合場に入ることはできない。※外部指導者席は各試合場に設けてあります。
- (3) 試合場への選手の入場の際、選手席後ろに整列し、監督の指示で正面に礼をし、畳に着座する。 退場の際も同様。選手は竹刀を、手に持って入退場する。
- (4) 団体戦で相互に礼をする時、開始時は先鋒・次鋒、終了時は大将のみ面、小手を着け、竹刀を持って 横一列に並ぶ。先鋒が審判側に、中堅が中心点の位置に並ぶ。
- (5) 団体戦の礼の「開始」「終了」は1試合ごとに行う。
- (6) 試合の際、監督が着席したことを確認してから試合を開始する。
 - ・団体戦は、全試合。
 - ・個人戦は準々決勝(ベスト8)以上
 - ※団体戦で男女、個人戦で同一校から複数選手が同時に試合の場合は、同地区の副委員長、予選母体の専門委員長、同地区で監督が依頼した顧問に、監督を代行してもらうことができる。
- (7) 正面への礼は第一試合の開始時、及び決勝戦の開始、終了時のみとする。選手は相互の礼だけとし、 審判員や試合終了後の個人的座礼などは行わない。
- (8) 試合者は、審判員が移動し、所定の位置に着くまで、試合場に入ってはいけない。
- (9) 団体戦では、先鋒戦及び最後の試合者の対戦の場合、監督、選手ともに正座する。 個人戦においての監督も同じとする。
- (10) 選手・監督の試合場での位置は畳の上とする。
- (11) 選手交代の際の余計な所作(胸突き、タッチ等) は禁止する。
- (12) 選手・監督のサイン・声援は禁止する。(違反の場合は、審判主任が指導する。)
- (13) 選手変更の場合は、「選手変更届」を各試合場の試合場主任に試合前に提出する。
- (14) 男子の更衣については、観客席・応援席等で行う、女子の更衣については、指定された場所で行う。
- (15) 練習は指定された場所で行う。
- (16) 審判合議の時は、選手は立ったまま納刀し、試合場内で蹲踞か正座をして待つ。
- (17) 試合場への時計の持ち込みは禁止する。
- (18) 剣道具の着装は、面紐は結び目より 40 cm以内、小手紐はきちんと結ぶ。
- (19) サポーター等(足袋・テーピング(白・肌色)・コルセット等)の使用については、医療上必要と認める場合に限り使用を認める。相手に危害を加えたり、公正さに欠けるものは使用しない。使用の際の「届け」は不要とする。
- (20) 目印については、幅5cm、長さ70cm以内のものを各校または個人で用意する。
- (21) 選手の布製の名札(垂れ名札)は、規定のものを着用する。着用していないもの場合は出場を認めない。
- (22) 面について

面金を黒塗りにした面など、通常の配色でない面の使用を禁止する。ポリカーボネート面の使用は認める。アイガードも可。

(日本中体連申し合わせ事項による)

- (24) 選手が5人揃わない場合は、次のように登録する。
 - ①3人の場合は、先鋒・中堅・大将
 - ②4人の場合は、先鋒・中堅・副将・大将
- (25) 第一試合は、先鋒が9歩の間合いに立ち、全試合場が揃ったところで、審判長の合図(太鼓等)で礼をし、開始する。
- (26) 準決勝は4試合場で、アナウンスによって同時に開始する。
- (27) 決勝戦は、団体戦は2試合場(男女同時)、個人戦は1試合場で行う。
- (28) 掲示の仕方について。

掲示要領

1. 掲示項目および掲示内容 主審の宣告により、下記の表示物を正確に掲示板に表示し、審 判員・試合者ならびに観衆に試合経過が分かるようにする。

-27. 17	-t	let I. who
項目	表示物	掲 示 内 容
有効打突	Ø 9 B Ø	②=面 □=小手 □○ = 胴 □○ = 突き 有効打突の掲示の順序は右記第1図の大将 戦のように掲示する。
反 則	A	反則の場合は枠の上下両端の左側に「▲」 (赤色) を掲示する。
反則 2 回	®	反則2回で反則「▲」を取り除き、「図」 を相手側に掲示する。
相殺		相殺の場合は相殺前の反則「▲」の掲示は 残す。ただし記録用紙に相殺前の欄を設け、 回数を記録する。
判定勝ち	1	判定勝ちの場合は「劉」を掲示する。
抽選勝ち	(H)	抽選勝ちの場合は「⑪」を掲示する。
一本勝ち	一本勝	一方が1本取得し、試合時間が終了した場合は「1本勝」を掲示する。
延長	延 長	延長戦の場合は枠の中心線の左側に「延長」 を掲示する。
引き分け	×	引き分けの場合は枠の中心線の中央に「×」を掲示する。
不戦勝ち 棄 権 試合不能	[0]	不戦勝ち・棄権・試合不能および不当行為などで勝敗が決した場合は、勝者側に「○」、延長戦の場合は「○」を掲示する。

2. 揭示方法

(1)団体試合での審判員名および団体名・選手編成ならびに表示物 を掲示板に掲示する方法は第1図のとおりとする。

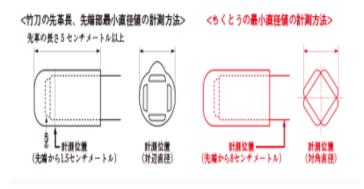
第1図 掲示板および掲示方法						
区 分	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	審判員
団 体 名	選手名	選手名	選手名	選手名	選手名	主審名
赤	② 一 本 勝	延		®	▲ ⊗ ← ⊚ ←	1本目 3本目 副
白		長	00	x ©	⊕ E	審 名 名
団 体 名	選手名	選手名	選手名	選手名	選手名	

(2)個人試合での掲示方法は、その大会で定められた方法で掲示する。

<新たな掲載事項>

表1 竹刀の基準 (一刀の場合)

	対 象		中学生	高校生 (相当年齢の者も含む)	大学生・一般	
長さ	男女共通		114センチメートル以下	117センチメートル以下	120センチメートル以下	
重き	男 性		440グラム以上	480グラム以上	510グラム以上	
		女 性	400グラム以上	420グラム以上	440グラム以上	
太さ	男性	先端部最小直径	25ミリメートル以上	26ミリメートル以上	26ミリメートル以上	
		ちくとう最小直径	20ミリメートル以上	21ミリメートル以上	21ミリメートル以上	
	女性	先端部最小直径	24ミリメートル以上	25ミリメートル以上	25ミリメートル以上	
		ちくとう最小直径	19ミリメートル以上	20ミリメートル以上	20ミリメートル以上	



埼玉県中体連剣道専門部 申し合わせ事項

- ◎ 個人戦・団体戦の代表者戦は、延長の勝敗の決するまで無制限で行う。ただし、熱中症対策のため、試合開始から15分(延長開始からではない)を目安に、水分補給の時間を確保する。 (感染症対策を高じるときはこの場合ではない)
- ◎ オーダーミスによる措置について
- ① 試合開始前に発覚した場合は、正規のオーダーに改めさせ、特に罰則は与えない。
- ※ 試合開始とは、主審が「はじめ」の宣告をした時とする。
- ② 試合中に発覚した場合は、次のような措置をする。
- 表示が異なる選手が試合を行った場合は、該当する選手のポジションは、既得本数を認めず、 相手に二本を与えて、負けとする。
- ※ 自らがまだ試合をしておらず、本来のポジションの試合が行われていなければ、本来のポジションで試合を行うことができる。
- 例 I. 次鋒戦の最中に先鋒と中堅のオーダーミスに気がついた。
 - ・先鋒、中堅ともに既得本数を認めず、相手に二本を与えて、負けとする。
- 例Ⅱ.次鋒戦の最中に先鋒と次鋒と副将のオーダーミスに気がついた。
 - ・先鋒・次鋒すべて、既得本数を認めず、相手に二本を与えて負けとする。
 - ・副将は正しいオーダーに変えて試合ができる。(先鋒・次鋒戦で出ていない場合)
- ③ 試合後に発覚した場合は、次のように措置する。
 - ・試合後とは、団体戦では団体の礼、個人戦は、個人の礼を終了時とする。措置は②の とおりとする。
 - ・ミスのあった選手は、当該試合以後(勝ち上がった場合)の出場を認める。 (教育的配慮)

◎ 個人戦における、竹刀検量を通過した竹刀について(今回は日程等が空くため適用されない)

個人戦における竹刀検量を通過した竹刀については、2枚(男子:青と白、女子:赤と白)のシールがついている。審判を行う際、両方の色のシールが貼ってあるかを確認する。何もシールが貼られていない竹刀は不正竹刀とみなす。

団体戦に出場し、検量を通過して、そのまま個人戦に出場した場合、1枚(男子:青、女子:赤) しかシールが貼られていない場面が想定される。1枚しかシールを貼っていない竹刀を使用した場合は教育的配慮として、下記の通り対応する。(不正竹刀とはみなさず、失格とはしない)

① 試合開始前にわかった場合

ただちに竹刀を交換する。また、検量所で確認を受け、シールを貼ってもらう。

② 試合開始後にわかった場合

検量を受け、シールが2枚貼られている竹刀があれば、交換をする。ない場合、その試合に関しては、主審が目視で確認し、安全が確認できれば試合を続行する。(不正竹刀とみなさない) 試合終了後、ただちに試合場主任に確認をしてもらい、安全が確認されたらシールを貼ってもらう。

- ※今回は、男子団体は青、女子団体は赤、個人戦は白のシールが貼られる。貼られていない竹刀は 不正竹刀となる。日程が、団体戦が先になるので、個人戦にも出場する選手は、団体戦のシール をはがしておくこと。
- ※不正竹刀の内容については、「埼玉県県大会、監督・審判打ち合わせ事項」の1. 試合規則に関すること(14)を参照。
- ◎ 試合での面紐・胴紐に関して

面紐・胴紐に関しては関東大会等で定められている規定に準ずる

- *令和元年度第44回関東中学校剣道大会参照
- ・特別規定 面紐・胴紐は紺色系か白色のみの使用を認める。 と定められている。

<継続事項>

○両者の検定シールを見極め、<u>(約3秒程度、間をあけて)</u>その後、「はじめ」の合図で試合を開始する。

(感染症対策による追加事項)

◎感染症対策の観点から、面マスクとマウスガードは必ず着用をしての参加とする。

<変更事項>

○膝立ちで蹲踞する生徒の対応について → 膝立ちの状態から、「はじめ」の合図で試合を開始する。

- ○埼玉県中体連剣道専門部審判部 県大会での感染症対策審判関係について(全中の試合に準ずる部分あり)
- ・審判員のマスクについて、試合時は紙マスク(白)を着用する。(試合場等に準備する。)
- ・健康観察について
- →当日は、入口の非接触型体温計で体温を測定。(37.5度以上の場合、入館は認められない。)審判員の みの先生においても大会2週間前から検温をしてもらい、当日大会本部へ提出。(学校で使用している健康 観察表のコピーでも可。)
- ・審判員の先生の派遣については、例年通りの形で、各地区より選出をお願い致します。
- ・試合(延長戦の対応)の流れ

【個人戦および団体戦代表戦での対応】

(延長戦は2分ずつ区切る。)

試合時間3分 ⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 【小休止(深呼吸をする程度)】

- ⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 【 面を外しての休息 ・給水 (3分)】
- ⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 【小休止(深呼吸をする程度)】
- ⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 【面を外しての休息・給水 (3分)】 ⇒ 試合の続く限り繰り返す

○鍔迫り合いの指導、対処について

- (1) 鍔迫り合いをしない試合を心がけさせる。
- (2) 鍔迫り合いになってしまった場合の対処(「分かれ」が多用されないように)
 - →・やむを得ず鍔迫り合いとなった場合はただちに分かれるか引き技を出す。
 - ・「鍔迫り合いの解消」は、お互いに一旦間合いを完全に切る。
- (3) 反則となる行為
 - →・一方が分かれようとするところについていく、追いかける行為は、反則となる。
 - ・「鍔迫り合いの解消」途中で、完全に間合いが切れてないところで前に出る、技を出す行為は 反則となる。 「合議」→「反則」(公正を害する行為)
 - ・「鍔迫り合いの解消」途中で、間合いを切る一歩手前で下がらない、竹刀を払う、竹刀を巻く、 竹刀を下げる、竹刀を開く行為は反則となる。 「合議」→「反則」(公正を害する行為)
- (4)審判は鍔迫り合いに入った後、ただちに分かれるか引き技を出さない場合、「分かれ」をかける。 何回も「分かれ」をかけさせ、選手同士で解消する意思が見られないと判断した時は選手双方また は片方の反則となる。 「合議」→「反則」(公正を害する行為)
- (5) 意図的な時間空費、勝負の回避による相手に接近する行為は反則となる。 「合議」→「反則」(時間空費)

○選手について

- ・試合者はマスクとマウスガードを必ず着用すること。(埼玉県中体連剣道専門部申し合わせ事項)
- ・監督・選手の声援の禁止の徹底をお願い致します。

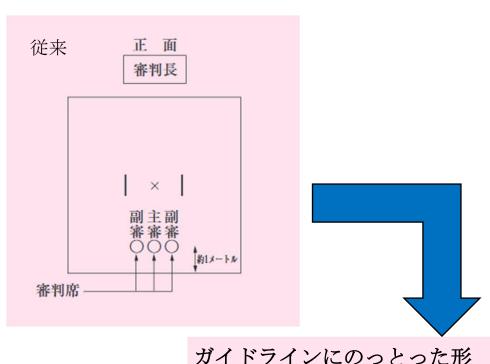
○鍔迫り合いでの発声について

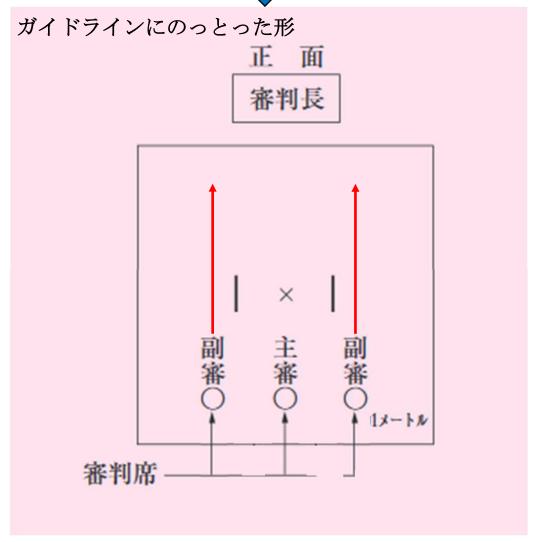
鍔迫り合いでの発声は、しない。発声してしまった場合は、審判主任が監督に発声しないよう伝える。また、 審判は一度の発声では、試合を止めないものとする。何度も発声してしまう場合は、試合を中断し、発生しない よう指導する。

その他の事項においては、(財)全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則、剣道試合・審判細則」及び「(公財) 日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項」・「埼玉県県大会、監督・審判打合せ事項」・「埼玉県中体連剣道 専門部申し合わせ事項」に準じて行うものとする。

【別添1】

剣道試合・審判運営要領p14 審判員の移動・交替要領第1図審判員の入場および整列

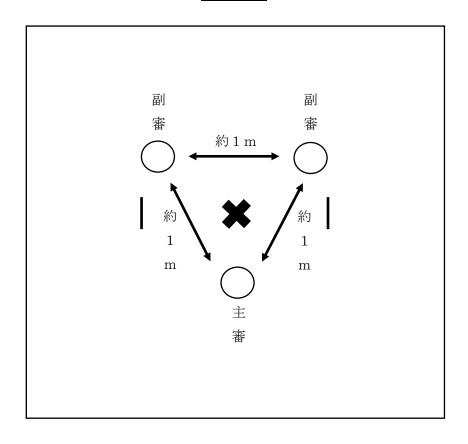




【別添2】

審判員合議時の位置

正面 審判長



令和4年度(公財)日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項

申し合わせ事項は「剣道試合・審判規則第1条」に基づくものであり、規定外の事態は

一般社会の常識で判断するものである。

【剣道試合・審判規則に関わる事項】

- 1 サポーター等(足袋、テーピング、コルセットを含む)の使用
- (1) 医療上必要と認められた場合に限り使用を認める。使用する場合は届け出た上で、使用する。 (成長過程における現状を把握するため)
- (2) サポーターなどは、肘、膝などにつける物を足につけたり、ゴムや革及び滑り止めを底に張った物等の使用は禁止する。(相手に危害・公正さの観点から)
- (3) 指先単独でのテーピングは届け出は不要とする。
- (4) 届け出と違う物を使用した場合は、替えさせる。
- 2 面
- (1) 面金を黒塗りにした面など、通常の配色でない面の使用を禁止する。 ただし、日常の稽古や練習試合での使用については特に制限を設けない。
- 3 竹 刀
- (1) 平成10年11月10日付 全剣連指導指針「竹刀の先革先端最小直径値計測方法」による。
- (2) 平成31年4月1日改正、全剣連剣道試合・審判運営要領「ちくとうの最小直径値の計測方法」による。
- (3) 不正竹刀を使用した場合は、試合規則第19条1、2、3を適用する。ただし、予選リーグにおいては補 員の起用は認めない。決勝トーナメント戦においては、次の試合から補員の起用を認める。
- (4) 不正竹刀とは、「ビニールやセロテープを巻いた物」「異物(先革の芯、柄頭のチギリ以外の物)を混入した物」「検印のない物」を指す。
- 4 公正を害する行為
- (1)「変形な構え等の防御態勢」をとった場合は、1回目は「合議」の上、「指導」、2回目以降は「合議」の 上、「反則」とする。
- 5 突き技
- (1) 禁止として反則とすることもある。(技としては反則とする)
- 6 上 段
- (1) 上段の構えはとらせない。隻腕についてはその都度協議する。
- 7 二 刀
- (1) 使用させない。
- 8 片手打ち
- (1)有効打突としない。
- 9 試合開始
- (1) 主審の「始め」の宣告で完全に立ち上がって開始させる。(不適切な場合は、指導する)
- 10 主審の宣告
- (1) 反則の宣告が簡略化されたが、(公財) 日本中体連剣道競技部では「第3章第37条」〜特に宣告に際し必要を認めた場合は、その理由を述べることができる〜を教育的配慮として適用する。

【試合運営に関わる事項】

- 1 試合者要領
- (1) 団体戦では、先鋒戦及び最後の試合者の対戦の場合、監督、選手ともに正座する。 個人戦においての監督も同じとする。
- 2 華美への配慮
- (1) 校名・校章等の刺繍(剣道着・袴)は、大きさ、色を含めて華美にならないように配慮する。
- (2) 面乳革は、大きさ、色、模様を含めて華美にならないように配慮し、色は黒色または紺色とする。
- (3) 柄革は、滑り止め (ゴム等) や模様等のない無地のもので、白色とする。
 - ※ ただし、日常の稽古や練習試合での使用については、その限りではない。
 - ※ 柄革の上端(折り返し部分)の色・模様については、特に制限を設けない。
 - ※ 滑り止め (ゴム等) のついた柄革の使用は禁止する。

申し合わせ事項解説

「4 公正を害する行為」について

・「変形な構え等の防御姿勢」をとった場合は、1回目は「合議」の上、「指導」、 2回目以降は「合議」の上、「反則」とする。

変形な構えについての共通理解事項

(平成24年度作成)

- (1)「変形な構え」とは
 - ・ 左拳を概ね目線より上にして、面・右小手・右胴を同時に防御する形をいう。
- (2)「指導・反則」とならない場合
 - ・ 中段の構え等からの「応じ技」途中の姿勢
 - ・ 鍔競り合いや体当たりでの「身体的圧力」及び「攻め」による一瞬の崩れ
- (3) 見極めの留意事項
 - ・「変形な構え」に近い形が認められても左拳の高さが目線に達していない場合が多いので、左拳の位置を 確認の基準にする。また、剣先(けんせん)が下がっているかどうかをよく見極める。
 - ・「変形な構え」で相手の打ちを待つ状態が確認された場合は、後から技が出ても「応じ技」途中の姿勢と は判断しない。

【指導・反則の宣告方法】

- ◇ 主審が合議をかける(主審の専決事項)
- (1)「指導」をとる場合

主審は選手を開始線に戻し「指導」をとる選手に近づき、審判旗を右手に持ち左手拳を明確に頭上(目の位置より高く)に上げ、「変形な構え」が認められたため「指導」をとることを説明する。次に定位置に戻り審判旗を一方に持ち、宣告を行う側の選手に対し、指を揃え手の平を内側にして、指先で概ね選手の前垂を指すように腕を上げ、「指導」と発声し宣告を行う。

(2)「反則」をとる場合

「指導」と同じ要領で「反則」をとることを説明する。次に主審は定位置に 戻り、他の反則 と同じ要領で、旗を斜め下方に上げ、「反則〇回」と宣告する。

(3) 確認事項

・1回目は「合議」の上「指導」、2回目以降は「合議」の上「反則」とする。

【掲示板への記入方法】

帝色地に白抜き文字「指」を掲示する。

「公正を害する変形な構え」の指導は1回のみ。次からは反則となり、掲示板の 指は残し、▲(反則)を新たに掲示していく。

【「変形な構え」を指導・反則事項とした理由】

生涯剣道のために大切な基礎基本を身につけなければならない中学生の時期に防御の効率のみを優先して、左拳を極端に身体の中心から外して防御に頼ることは、剣道の正しい修得を妨げるものである。剣道は一方を防御すれば一方に隙が生じ、打つときは打たれるときである。その緊張感と迷いを鍛錬と経験則による瞬時の判断で拭ききって勝負に出るところに醍醐味がある。

したがって、特に「突き技」を禁止している中学生の試合では、三カ所を同時に防御するという「変形な構え」は、左手が定まらないという見苦しさだけでなく、心の面でも剣道の良さを否定することにつながるものである。更には、いたずらに試合時間を引き延ばす結果にもなっている。

以上の理由により(公財)日本中学校体育連盟剣道競技部では「変形な構え」を指導・反則とした。

「6 上 段」について

・上段の構えはとらせない。隻腕についてはその都度協議する。

隻腕についての共通理解事項

(平成23年度作成)

各都道府県で、隻腕の競技者が確認された際は、速やかに専門委員長がブロック長へ報告するとともに、「構えが公正を害する行為」とならないよう指導する。

- ○「構えが公正を害する行為」となるとは 片手上段で面を防御するとともに、竹刀の鍔元を所持して柄で小手を防御し、一方の腕(小手・袖等)で胴を防御するなど、三カ所を同時に防御することをいう。
- 指導する理由
 - 中学生には「突き技」を禁止している。
 - ・ 中段の構えにおいても「面」「小手」「胴」を同時に防御する「変形な構え」をとった場合は「指導」「反則」の対象となる。
 - ・ 公平性、平等性等を考慮し、下記の指導をする。
- 指導内容
 - 竹刀の柄頭を所持し構えるよう指導する。
 - ・「鍔競り合い」及び「打つ直前」の鍔元所持は良い。
- ※ 上記の指導は大会直前では、競技者の身体的精神的負担が大きいので、極力早期に報告と指導を行い、監督や競技者が練習に生かせるよう配慮する。

令和4年度「重点指導事項」について(お願い)

令和3年度第51回全国中学校剣道大会の運営及び試合・審判についての反省と今まで引き継がれてきた課題から、次年度の北海道大会に向けて「重点指導事項」を策定いたしました。

つきましては、下記の項目について、各都道府県の大会や強化会・講習会等での積極的な指導をお願いします。

記

- 1 申し合わせ事項についての徹底
 - (1)「申し合わせ事項」(別紙)についてのご理解とご協力、指導の徹底をお願いします。

用具・着装全般(文字等を含む)について従来の伝統的な色や形を安易に変える傾向が若干見られますが、極力「申し合わせ事項」には加えず「指導」の形で対応します。規則に固執することなく「質実」という伝統文化の良さを積極的にご活用いただき、ご協力をお願いいたします。

- 2 礼法について
 - (1) 蹲踞の「始め」と「終わり」を正確・丁寧に行う。
 - ※ 「始め」抜きながら蹲踞する。
 - ※ 「終わり」納刀した後、右手を右太股においてから立ち上がる。
 - ◇ 詳しくは、剣道指導要領P44、45参照
 - (2) 団体の礼の前後や選手交替時における余計な所作は改める。
 - ※ 円陣を組んでの発声やパフォーマンス・胴づき、握手など
 - ◇ 全日本剣道連盟剣道試合・審判運営要領「その他の要領」5項参照
- 3 その他
 - (1) 危険かつ見苦しい暴力的行為は、厳に慎むようご指導ください。
 - (2) 「安易に左拳を中心線から外す防御姿勢をとらせない」いわゆる「公正を害する変形な構え」について、今後も継続してご指導ください。
 - (3) 「鍔競り合いの解消途中」で時間空費が目的と思われる打ちを継続する場面が見受けられます。 反則行為としてご指導ください。
 - (4) 面紐の長さは結び目から40センチメートル以下です。長いものが見受けられました。また、<u>結び目の位置が高過ぎる</u>選手も見られました。面が外れたり、転倒時に後頭部を保護できない可能性があります。危険防止として適切な位置で結ぶよう、今後も継続してご指導ください。
 - ◇ 剣道試合・審判・運営要領の手引き P 2 5 参照
 - (5) 袴など華美にならぬようご指導ください。<u>また、学校代表として出場している大会においては、学校名、校章等の刺繍やワッペン以外、剣道着の袖につけたり、入れたりしないようにしてください。</u> 袴の裾には刺繍やワッペンをつけないでください。
 - (6) 試合者の名札は、生徒役員が判読しやすい字体にしてください。
 - (7) 試合者が、試合中に中止要請をする場合、「タイム」と発声するようご指導ください。
 - ※ 以下は、全剣連から出されている「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判法」に 関する内容です。
 - ①『全剣連発出「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」を受けての試合・審判に関する統一 事項』について、令和3年10月1日付け通知文(改定版)及び、令和3年2月配布、解説映像(DVD) を活用し、ご指導ください。
 - ②次の点、中体連として追加の指導項目となります。
 - ・ 鍔競り合いの際、裏交差になっている場合は、正しい鍔競り合い(表交差)に戻してから、或いは戻しながら解消する。指導を行い、再三繰り返したり、意図的な行為ならば合議の上、反則を適用する。
 - ※ 団体戦の代表者戦、個人戦での延長戦は以下の通りとします。
 - 延長戦は2分ずつ区切って行います。
 - ・ 試合時間 3 分⇒延長 2 分⇒延長 2 分⇒【小休止 (深呼吸をする程度)】 ⇒延長 2 分⇒延長 2 分⇒【面を外して休息・給水】
 - ※上記を繰り返す。
- 【小休止】→開始線で10秒程度の深呼吸。
- 【休息・給水】⇒立ったまま納刀し、待機場所に戻って面を外し、所定の場所で水分補給を行う。時間は3分とする。

付記 本件に関する問い合わせ先

(公財) 日本中学校体育連盟剣道競技部長 國原 宣昌

勤務先:福島県福島市立北信中学校 電話:024-553-5049

審判の反省確認事項 (抜粋) (第51回神奈川大会)

- 1 給水について・・・給水対応については、あくまでも熱中症対策として対応するものである。個人戦の選手には水分補給用の飲み物を持って入場するよう事前に伝える。延長戦については、健康安全上(熱中症)の配慮として試合開始より15分をめどに3分程度の給水時間をとる。計時主任はタイマーを持って審判主任に伝える。審判主審はホイッスルで伝える。選手は畳の上で面を取り、壁側で給水する。その際、審判員は一度審判控え場所に退場する。給水中における、監督からの選手への指導は認めない。尚、15分の時間は原則である。選手の状況を見て審判主任・主審が判断する。
- ※ 第51回神奈川大会における延長戦が長引いた際の給水については、『令和4年度「重点指導事項」について (お願い)』に記載。
- 2 監督の異議申し立てについては、1つの事象につき1回までとする。
- 3 竹刀の弦が上になっていない場合、原則として竹刀に触れずに指導する。(鍔元近辺を指しながらジェスチャーにて指導し必要であれば鍔部または柄部にて指導する)
- 4 監督・選手の応援は、拍手のみということを徹底する。オーバーアクション等があれば、審判主任より監督・ 選手に注意を促す。
- 5 応援席からの「声援」が大きすぎる。指導が必要である。
- 6 面紐の位置が高い選手には、危険が予測できる場合は付け直しをさせる。(物見の高さで) 長さが 4 0 センチ 以上ある選手がいた場合、試合の前後で監督に伝え対応してもらう。(見えないところで切る等)
- 7 試合と試合の間は極力空けない。(審判員の緊張感が途切れる)
- 8「変形な構え」で微妙な場合は複数回見ること。明らかな場合は即指導をとる。特に剣先(けんせん)が下がっているかどうか。左拳の位置で判断をする。
- 9 大会運営をスムーズに行うため、団体戦における先鋒戦の開始については、監督が畳に座ったことを確認してから「はじめ」の宣告を行う。監督は、始礼(始めの礼)後、速やかに前列畳に移動し、選手を待たずに着座する。
 - 選手は、前の試合の終礼(終わりの礼)が行われたら、直ちに2列目の畳より立礼の位置へ移動し、団体戦の始礼を行う。面・小手・竹刀の移動は、始礼が終わった後に行う。
- 10 危険行為(かち上げや社会的批判を伴うような行為)があった場合は、反則負けとする場合がある。その際、合議の上、主審は審判主任に確認する。審判主任は、必要があれば審判長に確認をする。
- 11 不正竹刀の使用が無いように、指導するという観点から、蹲踞した時点では不正竹刀の使用とはしない。 主審の「始め」の宣告前であれば、取り替えさせる。宣告後には適用する。特に、未然防止のために、持 ち込ませない指導を徹底させる。県大会、ブロック大会などでも同様な取扱い方法が望ましい。
- 12 オーダーミスについては、主審の「始め」の宣告の前であれば、交代させる。主審の宣告後には適用する。
- 13 代表者戦については、登録選手7名の中から代表者を出すことができる。
- 14 竹刀を落とさせる行為については、落とした選手が反則なのか、落とさせた選手が反則なのか、合議で確認する。打突につながる行為なのか、竹刀を落とさせる行為なのか見極める。
- 15 試合者が、試合中に中止要請をする場合、「タイム」と発声させる。

各大会審判員選出について

○県大会について

1 人 数 学総体団体戦80名以上(高体連より8名)

個人戦80名以上(高体連より8名)

新人兼県民 団体戦80名以上(高体連より8名)

個人戦80名以上(高体連より8名)

- 2 審判員段位 四段以上
- 3 選出方法 年度初めに、各地区(東・西・南・北・さいたま市)より選出
- ◎選出手順:予選地区専門委員長は、審判部長に報告お願いします。
- ※県大会代表者会議で予選地区専門委員長が出席者を審判部長に報告(競技役員と同一の用紙)
- 4 選出人数 東部20名以上 西部20名以上 南部20名以上

北部12名以上 さいたま市8名以上

5 そ の 他 選出された審判員の先生方には、原則として四大会の審判をお願いする。

○関東大会について

- 1 日時場所 8月 9日 10日:埼玉県 所沢市民体育館 (8月9日審判会議)
- 2 人 数 17名選出(8試合場)
- 2 審判員段位 6・7段を中心に
- 3 選出方法 学総体終了後、審判部より指名する。
- 4 そ の 他 埼玉関東の場合は中体連より9名・高体連より8名 全国大会については、関東中体連剣道専門部の規定による。

○その他の大会について

- 1 道場連盟の大会
 - ・審判部より大会会場等を考慮して依頼。
 - ・大会日時、派遣人員等 5/14(土)団体 吉見町 7名 5段以上

6/11(土)個人 吉見町 5名 5段以上

7/9 (土) 道場対抗 吉見町 5名 6段以上

- 2 大学剣道連盟の大会
 - ・大会日時、派遣人員等 7/ () 尚美学園大学 8名 4段以上
 - 12/ () 尚美学園大学 8名 4段以上
- 3 その他の大会
 - ・審判依頼があった場合については、協力する。
 - ·令和元年度 解脱選抜大会 11月 4名

審判実技講習会実施計画

○審判実技講習会

- 1 日 時 令和3年4月2日(土)
- 2 会 場 所沢市民体育館
- 3 対象者 県大会審判員及び各中学校剣道部顧問・関東大会で審判していただけ る高体連の先生方
- 4 内 容 (1) 審判技能向上に関する講義及び審判実技研修
 - (2) 剣道実技講習(稽 古 会)
 - (3) その他

○その他の講習会について

- 1 各地区での審判実技講習会実施のお願い
 - ・地区ごとに、1年生大会や地区大会、練習試合等で審判実技講習会を年数回実施。
 - ・講師については、審判部に依頼も可能。
- 2 埼玉県剣道連盟主催の四地区講習会への参加
 - ・年4回各地区(東西南北)で開催されている講習会への積極的な参加を。
 - ・講習会の内容は、審判講習会または指導法講習会。 ※31年度の開催予定・講習内容等は、埼玉県剣道連盟のホームページで確認
- 3 埼玉県学校剣道連盟指導者講習会への参加
 - · 日 時 令和4年12月10日(土)
 - •会 場 埼玉県立武道館 第2道場

 - ・内容 (1) 指導方法に関する講習(剣道形・木刀による基本技稽古法等)
 - (2) 剣道実技講習(稽 古 会)
 - (3) その他

埼玉県中学校体育連盟剣道専門部 令和4年度当初 県大会審判員報告用紙

	予選地区名	東・西・南・北・さいたま市	地区名
--	-------	---------------	-----

予選地区専門委員長名(学校名)	()
-----------------	---	---

	氏 名	学校名	段位	県大会で主審が行える 先生に可と記載	性別
1					男•女
2					男•女
3					男•女
4					男•女
5					男•女
6					男•女
7					男•女
8					男•女
9					男•女
10					男•女
11					男•女
12					男•女
13					男•女
14					男•女
15					男•女

- ※4段以上の先生方の選出をお願いいたします。
- ※各予選地区の専門委員長 → 審判部・星川(川口市立幸並中学校 FAX:048-251-6794)
- ※各予選地区専門委員長は、5月21日(金)までに審判部・星川に報告して下さい。

≪R4年度 県中体連剣道専門部 会計について≫

会計部資料

①県中体連より

学総体県大会	425,000 円
新人県大会	240,000 円
各会議費、講習会	各 30,000~50,000 円
強化費	166,000 円

②埼玉県剣道連盟より

県民総体(新人大会)個人戦 400,000円

以下は剣連行事として専門部会計とは別になっています。

- ・夏季ジュニア強化合宿
- 都道府県対抗
- 冬季中高強化

(担当 強化対策委会計)

≪旅費について≫

基本的に、役員(生徒引率がない場合)は剣道専門部から旅費を支給します。その際、旅行命令簿の別途負担の欄にレを記入してください。印鑑忘れが増えており、会計処理に支障が出ています。印鑑を必ずご持参ください。

≪支払いについて≫

金額が大きい場合には、予めご一報ください。事前に見積もりがわかっている場合は、できるだけ事前にお金をお渡ししたいと思います。やむを得ず立て替えていただく場合は、後日領収書を会計までお願いします。<u>領収書の宛名をどうするか必ず相談</u>ください。

≪会計部組織について≫

今年度同様、【東西南北さいたま市】より1人ずつ強化会担当を置き、各支部の担当強化会の会計を行います。

≪県大会プログラムについて≫

登録選手には1冊300円での廉価頒布とし、一般販売(500円)も行います。 登録選手数の購入にご協力をお願いします。

- ・学校総合体育大会プログラム(団体・個人 合冊)
- ・新人体育大会専門部プログラム (団体・個人 合冊)
- ・新人体育大会**剣連**プログラム(個人戦選手に1冊ずつ無料配布)*販売なし

≪大会・埼玉県強化練成会でのお弁当について≫

販売価格は1つ(お茶付)700円です。大会、練成会当日の受付時に注文を受け付けます。練成会の参加申込み時に記入された個数は必ず購入ください。なお、埼玉県強化練成会に参加する県外の先生方の分は、専門部で負担します。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策として強化錬成会でのお弁当の用意 はありませんでした。会場からの指示や社会情勢により、変更となる場合があります。

令和4年度 記録報道部 専門委員長会議 資料

埼玉県中体連剣道専門部 記録報道部

①記録報道部の活動内容

- (1)公式戦の記録報道について
 - ・HP での大会案内、代表者会議資料、大会速報、大会結果の集約ならびに HP へのアップ
 - ・代表者会議にて組み合わせのプロジェクター投影・作成
 - ・試合記録用紙の作成・保管
 - ・関係各所への試合結果・記録等の送付
 - •関東大会・全国大会の埼玉県選手団の結果を関係各所への送付
- (2) 専門部の諸連絡に関する報道
 - •専門委員長会議の資料や各種派遣文書の専門部専用ページへの掲載
 - ・各種のお知らせ(稽古会や講習会)の HP 上での告知
- (3)コロナ関係の各種情報を HP 上で提供
 - •練成会の開催可否、中止案内等
 - ・コロナ関係ガイドライン等の掲載

大会・講習会・練成会等に関する注意事項や中止連絡はHP上で行いますので定期的にご確認 <u><ださい</u>

②令和4年度の予定・提案

(1) 各種強化練成大会の WEB 申し込みの運用

錬成大会記録ならびに申し込み URL : http://sck-kendo.com/renseitaikai.html →

申し込みページアクセス用パスワード: keyaki2022

管理用アカウント(Google)

ユーザー名 : saitama.jhs.kendo.rensei

パスワード: <強化対策事務局長より各担当に伝達します>

メールアドレス : saitama.jhs.kendo.rensei@gmail.com

申し込み用フォームのイメージ



ホームページ上に掲載してほしい内容がある場合は、以下にご送付ください さいたま市立泰平中学校 高信 宛 メール・・・hk30drft@gmail.com FAX・・・048-651-4626 令和4年度埼玉県中体連剣道専門部 専門委員長会議資料 強化対策委員会

> 強化対策委員長 強化対策事務局長

七条 創 (朝霞市立朝霞第二中学校) 上野 哲平(吉川市立南中学校)

令和4年度 強化計画について

強化対策委員会組織

指定強化委員(アドバイザー) 専門委員長 強化対策委員長 各地区強化対策委員地区代表 各地区強化対策委員 強化対策委員会

埼玉県中学生剣道交流大会運営について

※令和4年度より名称の変更※

- ・ 基本的には令和3年度までの強化錬成会と同様の形を継続していくが、参加規定校数等や、半 日開催等は緩和の方向で計画する。大会に名称変更の為、最終順位を確定しHPに掲載する。
- ・団体申し込みは Web での申し込みとし、個人参加(強化候補選手)の申し込みはFAXにて おこなう。その他日程等、交流大会詳細は別紙参照
- ・ 感染症拡大防止対策をとっての実施。

【交流大会(特別含)における共通の役割について】 不在の場合「→」の順で担当

- ・申し込み先、集約、組み合わせ責任者・・・事務局長(Web 申込み)(個人はFAX)
- ・会場準備(前日準備含)・・・各地区強化対策委員・各地区顧問等
- ・当日監督会議・開会式挨拶・・・専門委員長→強化対策委員長→各地区副委員長
- ・当日監督会議・開会式試合について・・・**強化対策委員長→強化対策事務局長**
- ・当日諸連絡・・・各地区強化対策委員(会場・運営に詳しい地区顧問でも可)
- ・当日閉会式講評・・・(専門委員長)→各地区副委員長→各地区強化対策委員(代表者) ※朝の挨拶と重ならないように配慮する※

プレ関東大会(埼玉)について(済)

強化対策委員会役割

令和 4 年 4 月 2 日 (土) 午前:審判講習会·準備 午後:個人戦(強化候補選手 男女各 1 8 名) 3日(日)団体戦(男女予選リーグ・決勝トーナメント)所沢市民体育館

【出場校選出について】個人戦は、強化候補選手 団体戦は、男女別最大 48 校で選出

- ・埼玉県内中学校のみで実施
- · 強化対策委員推薦選抜校(男女各6校程度)

- ・役員校(運営に必要な役員の所属する学校 10 校程度)
- ・強化候補選手(埼玉選抜としてチーム編成 1チーム程度)
- ・各予選母体枠選出校(現状各予選母体から1校 さいたま市は4校)
- ○R3冬季特別強化錬成会出場校選出時と同様に、各予選母体で順位決定の錬成会を実施。予選母体から上位1校を出場校として選出する。1位になった学校が選抜校や役員校が含まれる場合は時点の学校を出場校として選出する。

各予選母体での錬成会実施状況把握及び、結果集約は強化対策委員地区代表がおこない、事務局 長へ報告する。

【要項発送・集約等】

- ・プレ関東出場校には、予選結果の報告が上がり次第個別に要項を発送する。
- ・発送、集約は一括して強化対策委員会事務局長がおこなう。

【組み合わせについて】

・強化対策委員会会議にて組み合わせを作成する。(3月上旬)

【当日試合運営について】

・主に審判として強化対策委員は活動する。 (場合によってその他の部で活動)

埼玉県中学生春季特別剣道交流大会運営について

※令和4年度より名称の変更※

場所:行田グリーンアリーナ

令和4年度 GW **4月29日(金)30日(土)5月1日(日)3日(月)**4日(火)5日(水)(29日:前日準備 30・1日:両日共に順位付け錬成会形式)

・感染症拡大防止対策をとっての実施を検討。 役員校・強化候補選手には3月上旬配布済

※県外校(各都県専門委員長)・県内選抜校には2月上旬に要項配布済※

学校総合体育大会 県大会

7月16日(土):女子団体戦 17日(日):男子団体戦 30日(土):男女個人戦

※日程変更の可能性もあり※

- ・個人戦組み合わせ担当
- ・ 強化候補選手の選定
- 入館、整列関係の役割担当
- ·都道府県代表選手保護者説明7月30日(土)個人戦終了後(事務局長)

関東大会組み合わせ抽選会 8月3日(水)

皆野町立皆野中学校:詳細は後日報告 ※会場の変更も検討※

中高強化錬成会(関東・全国出場校強化事業) 8月6日(土)

※日程変更の可能性もあり※

(全参加高校と試合を実施した後終了 午後2時ごろ終了)

中高強化錬成会 県立武道館 : 主道場 、 第二道場

> 団体戦 関東、全国出場校 男女 各6校 ・参加資格

> > 個人戦 関東、全国出場者 選抜チーム

(補充は①団体出場選手補員→②強化候補選手からが望ましい)

• 運営 強化対策委員 . . .

第47回関東中学校剣道大会 8月9日(火)10日(水)

準備会8月7日(日)8日(月)

埼玉県所沢市 所沢市民体育館:詳細は後日報告

ジュニア強化合宿について 8月15日(月)16日(火)

感染拡大防止の関係で中止になることもあります。

【開催する場合】

- ・宿泊が可能か、日帰りで実施なのかを再検討
- ・一昨年度までの反省を踏まえて実施する。(閉庁日関係における指導者依頼等)
- ・学校総合体育大会(県大会)から合宿参加選手を選出する。

※合宿参加選手を本年度「強化候補選手」とする。

強化候補選手にふさわしい選手を選考していくため以下の観点で選考する。

- 「· 県大会出場者であり、競技力の高い選手であること。(順位だけではない)
- ・剣道はもちろん、学校生活においても強化指定選手にふさわしい生活態度であること。
- し・向上心をもち、意欲的に稽古に参加する者。

合宿場所:県立武道館 第二道場 宿泊:県立スポーツ総合センター

合宿宿泊人数:指導者(教職員):10名程度(宿泊・日帰)

選手 最大 36 名 (男子 18 名 女子 18 名)

※選手や、実態に合わせて選出人数は変更※

第17回全日本都道府県対抗剣道大会 9月18日(日)

※大阪府剣道連盟 HP に掲載※

感染拡大防止の関係で中止になることもあります。

令和元年度会場: 丸善インテックアリーナ (大阪府立体育館)

令和2年度会場:おおきにアリーナ舞洲・・・中止 令和3年度会場:おおきにアリーナ舞洲・・・中止

- ・学総県大会個人戦上位選手(男1~3位女1・2位)で編成。
- ※都道府県選手選抜の予選を兼ねる。辞退者がいた場合は、その都度協議する。※

学総県大会が実施されず、本大会が実施される場合は、埼玉県剣道連盟と協議の上で選手の選 考方法は再考する。事務局長が剣道連盟と連絡をとる。

- ・強化(強化稽古・錬成会・移動費・宿泊費など)に関わる一切の費用は埼剣連からの強化費で まかなう。
- ・監督・コーチ (男女各 $1+\alpha$) 強化対策委員を中心に選出する。

令和元年度 監督:上野哲平(吉川南) コーチ:荒井馨梨(川口芝東)

令和2年度 監督:上野哲平(吉川南) ・・・中止

令和3年度 監督:上野哲平(吉川南) ・・・中止

令和4年度 監督:上野哲平(吉川南) コーチ:荒井馨梨(新座四)

※現段階での選出の為、変更の可能性有※

埼玉県中学生秋季特別剣道交流大会運営について

※令和4年度より名称の変更※

日時:9月19日(月•祝)場所:埼玉県立武道館

本年度より、中体連剣道専門部主催での大会運営に変更。運営方法等は今後検討。

学校新人体育大会・県民総合スポーツ大会

団体戦 10月24・25日(月・火): 埼玉県立武道館

個人戦 11月12日(土):埼玉県立武道館

※日程変更の可能性もあり 県立武道館調整会議後に決定※

- ・個人戦組み合わせ担当・強化指定選手の選定

- ・入館、整列関係の役割担当 ・強化指定選手への認定書の配布(事務局長)

埼玉県中学生冬季特別剣道交流大会運営について

※令和4年度より名称の変更※ 12月24日(土)25日(日)※前日準備なし※

- ・2日間錬成会形式で実施予定。 1日目:県内錬成会 2日目:県外錬成会
- ・参加規定は、埼玉県内は新人県大会男女団体各ベスト8以上の学校とする。(男子・女子で別 に要項を配布する。) 配布窓口は事務局長のみとする。 県外は関東近隣の都県とし、原則各都 県専門委員長に規定部数を送付し、各チームに配布してもらう。
- ・中体連剣道専門部の公式事業の為、「社会体育・クラブチーム」での参加は不可とする。
- ・来年度以降も2日間開催予定だが、今後、日程的に他県の行事や、終業式とも重なり、県外チ ームを集めることが非常に難しい状況である。(12月1日申し込み締め切り)
- ・1日目に「強化指定選手」を対象にした強化練習会(1泊2日) を計画。2日目は自チームに合流し、通常の錬成会に参加。(個人で参加の場合は、選抜チー ムを作成) 埼剣連との調整をした後に実施予定。(小・中合同になる可能性も有)

中高強化練習会

・令和4年度の日程は令和5年2月4日(土)で検討中。

高体連強化部長:栗原先生(川口市立高校)との連絡をとって決定していく。

高体連としては、栃木県高体連との交歓大会が同時期に行われるため、令和元年度から継続実施 ということになり、日程が中高強化と重なっている。2日連続にならないように決定していく。

令和5年2月4日(土)

中高強化練習会 県内高等学校

(令和3年度は県立川越高等学校 中止)

・会場:現在調整中 ・参加資格:男女それぞれ 18名を選抜(強化指定選手)

運営:強化対策委員 個別に事務局長から参加依頼書を送付

強化指定(候補)選手の選定について

- ・令和3年度に選出した強化【候補】選手は令和4年7月17日(日)までとする。 【強化指定選手選出の流れ】
- ①「強化候補選手」を中心に新人県大会にて選出 (男女各 18 名) 中高強化参加対象選手とする。
- ②新年度に、新1年生を対象に「強化候補選手」として数名選出する。(全員ではない) (小学校時に埼剣連から強化指定を受けている選手が対象) ※県外から入学は対象外※
- ③学総県大会終了後、「強化指定選手」の指定は解除。(R4年度は7月17日(日)個人戦)
- ④学総県大会の結果と「強化候補選手」から1・2年生を対象にジュニア合宿参加選手を選出。
- ⑤ジュニア合宿参加選手を「強化候補選手」とする。 ※①に戻る。

「強化指定選手」には埼玉県中体連剣道専門部より認定書を作成し配布する。

令和4年度 強化対策委員名簿

〇印は 各地区代表者

は新規 ※新年度の異動等で変更箇所あり※

地区	名 前	学校名	学校電話番号	学校FAX
委員長	七条剣	朝霞二	048-461-6540	0 4 8 - 4 6 7 - 4 7 4 2
事務局長	上野 哲平	吉川南	048-982-1066	0 4 8 - 9 8 2 - 1 4 6 9
	峯 知恵	春日部東	0 4 8 - 7 5 2 - 2 4 5 4	0 4 8 - 7 6 3 - 9 6 6 3
東部地区	〇松田 昴也	行田長野	0 4 8 - 5 5 4 - 2 2 4 0	0 4 8 - 5 5 4 - 2 1 3 6
4	平井 武蔵	大相模	048-987-2111	0 4 8 - 9 8 7 - 2 1 1 4
	埜口 志穂	鷲 宮	0 4 8 0 - 5 8 - 1 0 4 4	0 4 8 0 - 5 8 - 4 1 0 6
	猪鼻 健	城北埼玉	0 4 9 - 2 3 5 - 3 2 2 2	0 4 9 - 2 3 5 - 7 0 2 0
西部地区	〇山﨑 夏樹	川越初雁	0 4 9 - 2 2 2 - 0 7 4 9	0 4 9 - 2 2 9 - 1 2 2 2
	加藤 匡彦	三芳東	049-258-5188	0 4 9 - 2 5 9 - 6 5 2 2
南部地区	〇中川 勇作	芝	048-265-3377	0 4 8 - 2 6 8 - 4 7 2 6
2	荒井 馨梨	新座四	048-477-6053	048-482-0134
	町田 竜志	秩父第二	0 4 9 4 - 2 2 - 0 6 4 6	0 4 9 4 - 2 2 - 7 8 6 0
北部地区	金室 あかね	熊谷三尻	0 4 8-5 3 2 - 3 6 5 7	0 4 8 - 5 3 3 - 2 0 6 4
4	〇黒澤 大輔	妻沼東	048-588-1352	0 4 8 - 5 8 9 - 0 4 5 4
	千島 京香	本庄東	0 4 9 5 - 2 2 - 6 3 1 8	0 4 9 5 - 2 3 - 3 3 0 8
	荒井 健文	白幡	048-861-3203	048-836-1587
さいたま市	〇白石 開	美園南	048-878-3511	0 4 8 - 8 7 8 - 3 5 1 2
4	内田 峻介	指扇	048-687-8800	048-687-9301
	中川 雄斗	原山	048-882-3192	048-811-1338

※強化対策委員は、他の所属部と兼任して役割を担う。※

- ① 交流大会の運営・補助・役員としての参加(所属地区開催の場合は、前日準備) (交流大会申し込み担当として各地区から1~2名選出 ※Webに変更済)
- ② 特別交流大会会の運営・補助・役員としての参加(選抜校であっても関係なし・若干名)
- ③ 中高強化事業(8月)の運営・役員としての参加(関東・全国出場校は免除)
- ④ ジュニア強化合宿 (8月) の指導者・運営補助 (宿泊・日帰り)
- ⑤ 都道府県対抗剣道大会 引率指導者·指導補助(※選抜※)
- ⑥ 学総(7月)新人(10月)県大会代表者会議における個人戦組み合わせ作成
- ⑦ 学総(7月)新人(11月)県大会の入館・誘導担当
- ⑧ 学総(7月)新人(11月)県大会時に強化候補(指定)選手選出をおこなう。
- ⑨ 12 月特別強化 1 日目の強化合宿指導者・運営補助(宿泊・日帰り)
- ⑩ 中高強化事業(2月)の指導者・運営補助(※選抜※)
- ① その他、県の強化事業に関わる仕事(その都度指示)

令和4年度 埼玉県中学生剣道交流大会 実施要項

- 1 目 的 剣道を愛好する中学生に広く剣道の練習、試合の機会を与え体力・技術の向上とスポーツ精神の 高揚を図り、心身ともに健全な生徒を育成し生涯スポーツの基礎作りに寄与する。
- 2 主 催 埼玉県中学校体育連盟 埼玉県中学校体育連盟剣道専門部
- 3 参 加 校 〇特別剣道交流大会・県剣道交流大会ともに参加規定を設けて実施をします。参加規定は以下の通りです。
 - ・学校総合体育大会及び新人戦埼玉県大会ベスト4以上の学校(地区強化対策委員推薦 優先対象)
 - 埼玉県内強化対策委員の推薦があった学校(各地区5校程度)
 - · 県専門委員長校 · 開催地区副委員長校 · 強化対策委員校 (運営補助)
 - <u>・社会体育、クラブチーム名での参加はできません。学校名(部活動)での参加をお願いいたします。</u>

尚、本年度は感染症拡大防止対策として別に参加規定を設けさせていただきます。

【令和4年度埼玉県中学生剣道交流大会参加規定】を必ず確認の上、申し込みをお願いいたします。 お問い合わせについては、各回担当者(強化対策委員)へご連絡ください。ご理解ご協力の程よ ろしくお願いいたします。

- 4 期日・申し込み先 ※令和4年度より申し込みはすべてWebでの申し込みとなります。
 - 〇埼玉県中体連剣道専門ホームページ http://sck-kendo.comより「埼玉県中学生剣道交流大会申し込みフォーム」にアクセスし、申し込みをおこなってください。
 - ○埼玉県内校に関しては申し込みページアクセスにはPasswordが必要になります。

(出場権のある学校には強化対策委員より周知します。)

- ○県外校は、passwordが必要のないフォーム(県外校用)から申し込みをおこなってください。 県外校の受付はフリーとしますが、会場の収容人数の関係で上限数に達した場合は入力フォームを閉 じさせていただきますのでご了承ください。(各回20校程度)各回の申し込み受付開始日は、下記 の表を参考にしてください。尚、事務局の作業の関係で予定日を過ぎる可能性がありますのでご了承 ください。
- 〇使用するブラウザ(校務パソコン等含む)によってはpassword入力画面に移動しない場合もあります。ブラウザの変更等を試して申し込みをお願いします。
- ◆強化候補選手の個人申し込みに関しては、該当選手所属校に別紙でFAXをさせていただいております。(令和4年度~5年度強化候補選手には新人大会終了後にFAXいたします。)コピーをして使用してください。再発送等の連絡は、強化対策委員事務局長 吉川市立南中学校 上野哲平までご連絡ください。

第 1	日 付	令和4年5月22日(日)	問い合わせ先	本庄市立本庄東中学校	備考 :参加規定あり
	会 場	埼玉県立皆野高等学校体育館	F A X	0495-23-3308	申込開始 4月15日(金)
	所在地	埼玉県秩父郡皆野町大淵19-1	担当者	千島 京香	申込締切 5月6日(金)
部)	電話番号	0494 - 62 - 2076	学校TEL	0495-22-6318	申し込み締切日を過ぎましたら 申し込みフォームを閉じます。
第		A 4		/	
2	日付	令和4年6月12日(日)	問い合わせ先	さいたま市立美園南中学校	備考 :参加規定あり
	H 11	令和4年6月12日(日) 埼 玉 県 立 武 道 館			備考:参加規定あり 申込開始 5月6日(金)
2	H 11	埼 玉 県 立 武 道 館		048-878-3512	

※ここから新チームになります※

第 3	日 付	令和4年9月17日(土)	問い合わせ先	川口市立芝中学校	備考 :参加規定あり
0	会 場	草加市スポーツ健康都市記念体育館	F A X	048 - 268 - 4726	申込開始 8月12日(金)
南	所 在 地	草加市瀬崎6-31-1	担当者	中川 勇作	申込締切 9月2日(金)
部)	電話番号	048 - 922 - 1151	学校TEL	048 - 265 - 3377	申し込み締切日を過ぎましたら 申し込みフォームを閉じます。
第 4	日 付	令和4年11月20日(日)	問い合わせ先	熊谷市立妻沼東中学校	備考 :参加規定あり
	会 場	- 会場調整中の為、 -	F A X	048 - 589 - 0454	申 込 開 始 10月15日(金)
北	所 在 地	- スペース	担当者	黒澤 大輔	申込締切 11月5日(金)
部)	電話番号		学校TEL	048 - 588 - 1352	申し込み締切日を過ぎましたら 申し込みフォームを閉じます。
第 5	日 付	令和5年1月15日(日)	問い合わせ先	吉川市立中央中学校	備考 :参加規定あり
	会 場	吉 川 市 総 合 体 育 館	F A X	048-982-0236	申込開始 12月2日(金)
東	所 在 地	吉川市上笹塚1-58-1	担当者	平井 武蔵	申込締切 12月23日(金)
部)	電話番号	048-982-6800	学校TEL	048-982-0241	申し込み締切日を過ぎましたら 申し込みフォームを閉じます。
第 6	日 付	令和5年 2月 25日(日)	問い合わせ先	川越市立初雁中学校	備考 :参加規定あり
回	会 場	狭 山 市 民 総 合 体 育 館	F A X	049 - 229 - 1222	申込開始 1月20日(金)
西	所 在 地	狭山市柏原555	担当者	山崎 夏樹	申込締切 2月10日(金)
部	電話番号	0429-52-0511	学校TEL	049 - 222 - 0749	申し込み締切日を過ぎましたら 申し込みフォームを閉じます。

※準備、運営については、各地区強化対策委員が中心となり、おこないます。

本年度は**Bチームの参加は出来ません。参加人数も1チーム7名制限とさせていただきます。当日の組み合わせに関しても事前にお伝えすることはできません。(申し込み確認は可)**趣旨をご理解の上参加願います。

	◆以降の剣	削道交流大会・大会は参加規定があります	す。Web申	■し込みでは無い大会もありますので	ご了承ください◆
埼玉県	日 付	1日目 令和4年4月30日(土)			備考 :参加規定あり
中学生	会 場	行田グリーンアリーナ			
春季	所 在 地	行田市大字和田1242		委員会担当:七条 上野て	
特 別 剣	電話番号	048 - 553 - 3377	別途要項 参加規程		要項は
道交	日 付	2日目 令和4年5月1日(日)	参 加风性	⋮ 県外校及び 選抜校(強化対策委員指定)	別途配布いたします。 ※コピー・FAX不可
流大会	会 場	行田グリーンアリーナ	3:	金化対策委員会が推薦した学校 金化対策委員会が推薦した学校	Web申し込み
2	所在地	行田市大字和田1242			
日 間)	電話番号	048-553-3377			
	日 付	令和4年 7月16日17日30日(土・日・土)			備考
大会	学校	総合体育大会兼全国·関東予選会		中体連申込用紙	代表者会議
*	会 場	埼玉県立武道館			7月 5日(火)
特別	日 付	令和4年 8月 6日(土)		強化対策委員会 担当:七条・上野て	学総県大会団体·個人選抜
強化		中高連携全国関東強化錬成会	担当者	DUDA TO TEST	全国関東強化
錬成会	会 場	埼玉県立武道館		別途要項配布	強化指定選手
関	日 付	令和4年8月9日10日(土・日)	A 18	体工用 武汉士中华大学	団体男女各6校
東	大会名	第48回関東中学校剣道大会	会場	埼玉県 所沢市民体育館	個人男女各4名
特別	日 付	令和4年8月15 ・16日(月・火)		強化対策委員会 担当:七条・上野て	県ジュニア強化合宿
強 化		埼玉県夏季ジュニア強化合宿	担当者	別途要項配布	学総より1・2年選考
合宿	会 場	埼玉県立武道館		別述安坦配仰	強化候補選手
全	日 付	令和4年8月19日~ 21日(金~日)	会場	北海道釧路市	団体男女各1校
国	大会名	第52回全国中学校剣道大会	云笏	湿原の風アリーナ釧路	個人男女各2名
	日 付	令和4年9月 18日(日) 予定			備考
大会		全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会	担当者	別途要項配布	参加者:学総個人選出
	会 場	大阪府 おおきにアリーナ舞洲 予定			男子3女子2強化指定選手
特埼別玉	日 付	令和4年9月19日(月・祝)	D.1.1.A TE = 7	(委員会担当:七条 上野で	備考 :参加規定あり
剣県 道中 交学	会 場		別途要項 参加規程		要項は 別途配布いたします。
流生大秋	所 在 地	上尾市日の出4-1877		選抜校(強化対策委員指定)	※コピー・FAX不可
会季	電話番号	048-777-2400	3:	強化対策委員会が推薦した学校	Web申し込み
大	日付	令和4年10月24·25日(月·火)11月12日(土)			備考
会	埼玉県新	人体育大会・県民総合スポーツ大会・埼玉県剣道大会(中学の部)		中体連申込用紙	代表者会議 10月 11日(火)
埼	云 物	坦工尔工风但用			備考
玉県中学生冬	日付会場	1月目 令和4年12月24日(土) 埼 玉 県 立 武 道 館	強化対策	【委員会担当:七条 上野て	ν ιι σ
学生	会場所在地	埼玉県立武道館 上尾市日の出4-1877	別途要項	配布	
季特	電話番号	1年前日の山4-1677 048-777-2400	参加規	程: 県外校及び 選抜校(強化対策委員指定)	
剣道	日付	2日目 令和4年12月25日(日)	4 ;	送扱校(短化対策安員相定) 強化対策委員会が推薦した学校	要項は 別途配布いたします。
別剣道交流大	会場	7 11 1 11 7 7 7 7 7 7			が迷れれてたしまり。 ※コピー不可
会 (2	所在地	上尾市日の出4-1877	1日目	│:強化指定選手強化稽古会 県立武道館 2F剣道場	
日間	電話番号	048-777-2400			
特別	日 付	令和5年 2月 4日(土)		強化対策委員会 担当:七条・上野て	
強化		中高連携強化練習会	担当者		新人戦より1・2年選考
合宿	会 場	会場未定		別途要項配布	強化指定選手
					•

※申込期限は厳守です。また、<u>申込み無しでの当日参加は出来</u>ません。

<u>原則、強化錬成会統一(春秋冬 強化は除く)で以下の時程で実施させていただきます。別紙要項・組み合わせ等は原則、後日送信はしませ</u>ん。

開場・受付 9:00 監督会議 9:20 9:30 開会行事

参加協力費は受付で徴収いたします。 • 各チーム紅白の目印・審判旗・ストップウォッチは用意してください。

• 水分及び靴袋の用意をお願いいたします。

・各試合方法については監督会議にてご確認下さい。(原則錬成会形式) ・本年度は感染対策の為、昼食の提供はおこないません。

検索:埼玉県 中体連 剣道専門部 googleやyahooにて検索ください。 http://www.sck-kendo.com 日程に変更がある場合は、中体連剣道専門部HPにて連絡いたします。参加前にご確認ください。

令和4年度 埼玉県中学生剣道交流大会 参加規定 (特別大会は除く) 令和4年 4月 1日現在

	担当地区	開催場所	日時	県内中学校	県外中学校	備考	
第1回	北部	埼玉県立皆野高等学校	5月22日(日)	0	0	9:00開場 15:30終了	
73 1 🗀	NOOP	体育館		参加規定有り	上限20校	県外校錬成会 各地区推薦校のみ	
第2回	さいたま市	 埼玉県立武道館	6月12日(日)	0	0	9:00開場 15:30終了	
为 Z 凹	CVICAIP	均工朱基以足的	0A120 (0)	参加規定有り	上限20校	県外校錬成会 各地区推薦校のみ	
	ここから新チーム(1・2年生対象)になります。						
第3回	南部	草加市スポーツ健	9月17日(土)	0	0	9:00開場 15:30終了	
おろ回	H) CP	康都市記念体育館	9/1 / D (I)	参加規定有り	上限20校	県外校錬成会 各地区推薦校のみ	
第4回	北部	※会場調整中※	11月20日(日)	0	0	9:00開場 15:30終了	
54回	ՎՄ 🗅 ի	~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~		参加規定有り	上限20校	県外校錬成会 各地区推薦校のみ	
第5回	東部	 吉川市総合体育館	1月15日(日)	0	0	9:00開場 15:30終了	
第5回	米叫 	四川中村日本自民	18130 (0)	参加規定有り	上限20校	県外校錬成会 各地区推薦校のみ	
笠の同	开立	狭山市民	28250 (0)	0	0	9:00開場 15:30終了	
第6回	西部	総合体育館	2月25日(日)	参加規定有り	上限20校	県外校錬成会 各地区推薦校のみ	

- ・参加チームは各校男女別<u>1チームのみ最大7名</u>とし、<u>Bチームの参加はさせない</u>。見学参加等も認めない。
- ・本年度は、埼玉県内参加校は各地区強化対策委員から推薦された学校のみ(各地区5校程度)とする。ただし、運営に関わる役員校はこの規定にはあてはまらない。また、強化指定(候補)選手の個人参加も別規定とする。
- ・埼玉県中体連剣道専門部ホームページより期限内に Web にて申し込む。【入館名簿・健康チェックシート・参加同意書】をダウンロードし、 当日入館時に提出する。
- ・入館時に提出された【入館名簿・健康チェックシート・参加同意書】に記載された者のみ入館可とする。(保護者、監督含む)
- ・当日の体温で37,5℃以上の体温もしくは平熱から1℃以上の体温の上昇がみられた場合は入館不可とする。また体調不良者も同様とする。
- 入館者全員に常時マスク着用を義務とする。選手においては、道着・袴着用時から面マスク着用とする。
- 会場施設の入館規定を最優先とする。
- 選手は面マスク、シールド類(口鼻を覆う形状のもの)の着用を義務とする。
- ・監督、顧問への昼食の提供はしない。

【開催の中止】

- ・開催予定の会場・市において、施設の開放が停止になるような状況になった場合は開催を中止とする。 (今後ワクチン接種等の関係で急に使用が不可になる場合もあり)
- 埼玉県内において緊急事態宣言及が再発令され、開催日が期間内であった場合は開催を中止とする。また、中体連本部より開催中止の進言が 出た場合も同様に中止とする。